

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年12月26日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

店員：

人数のほうはまだお揃いではないですか？

北野会長：

大体、揃ったやろ？

真田 孔明：

14人いますかね。

北野会長：

タバコを吸わない人いるの？コートかけておいて。

真田 孔明：

予約は何人でしたっけ？

店員：

13人です。

真田 孔明：

ぴったりですね。

北野会長：

ここいいところやね。

真田 孔明：

個室で。

北野会長：

今から銀座専門にする？三井ガーデンてさ。

真田 孔明：

徒歩で行けるプレミアっているんです。

北野会長：

本当や、えらい近所に。こんないいところあったし。三井ガーデン1回泊まったことあるし大丈夫やなど。それでそこを取ったつもりやったんやけど、運転手さんに紙を見せてさ、「はい、行って、三井ガーデン」って言ったら「汐留ですね」「え、え、汐留？」それで汐留に行ったの。

真田 孔明：
イタリア街で。

北野会長：
イタリア街、銀座は何か生きとるよね。歩いて遊んどったら。

真田 孔明：
混んでいるみたいですよ。タクシーさん・・・いろいろ。

メンバー：
すごい中国人がいっぱい。

メンバー：
タクシー乗り場に。

北野会長：
この間も結構、中国人がおったよ。もう歩いとる人の半数以上が中国人みたいな。後ろから聞こえてくる言葉はね、キャンキャンキャンばかりやもんね。今度、カメラマン屋になったらいんでない？Mさん、すごい女剣士みたいなことを言うってすごいね。データベース。

メンバー：
今すごい株にはまっています。

北野会長：
はまっとるやね。

メンバー：
楽しいみたいです。

北野会長：
怖い人が出てきたわ。孔明さんもタジタジやぞ。きっとあの後やる？孔明さんの後・・・

メンバー：
8月ぐらいに始めたので。

北野会長：
腕が悪いんや。

真田 孔明：
400万、抜いたってね。

メンバー：

この間も40万、抜いたって。

北野会長：

ちょっと今さっき来るときに、孔明さんとしやべっとったんやけど、何か株も動かんし、外人がかなり売り込んで、日本の投資家もちょっと売り込んどるやろ？ここでやっぱりちょっとね、俺、思うんやけど、孔明さん、居合だけを何か得意にしとるやろ？それがやっぱし全体的にもう半分のこっち。

真田 孔明：

売りですね。

北野会長：

売りのほうも皆さん、会得とかないと来ないんでない？数字が。俺は前もチラチラと言ったんやけど、半々掛けやとっからね。半分、買い建て、半分、売り建てっやるからどっちに行っただってかかる金は抜けるんやて。これは玉さえ持っとればどんなバカがやっても勝てます。勝てますって現ナマの話だよ。ただ、残った玉がいつ整理になるかっていうのは、やはり金が豊富でないとね、勝てんのやて。皆さんも弾扱いをやっていたらわかると思うけど、所詮は持つとる者の勝ちなんやて。これは。暴落を狙うにしろ、やはり玉がないとね、心が前に出て行かんで、わかる？弾がなかったからさ。最後の1発を出してバンって弾を打った後、カチャンいうてね。戦争にならんでね・・・本当に。そこが一番大きなところでないだろうかと思うね最近。うちの娘も最近ね、塩づいてしまって。私が買うと下がる。私が買うと下がる。お前、1,000株ずつでそんなに呪いを言うように言わんでくれって 笑 もう耳触りで仕方ない。

真田 孔明：

次女さんですよ。

北野会長：

そう。

真田 孔明：

長女様は、剣客なんですね？昔から。

北野会長：

余り口説きもせんし。

真田 孔明：

淡々と。

北野会長：

そう。トータルゲームいくらっていうタイプやから。1年ありがとうございました（乾杯）

メンバー：

ありがとうございました。

北野会長：

遠いところ。先生、久しぶりやね。おいしいのう。

サッチェル：

昨日のT滑ったんですけど。

北野会長：

俺、今その話を聞いて。全然、最近、Tは娘がやっとして、下がった、上がらん、上がらん言う話を聞いたけど、自分のところでいっぱい、いっぱいね。最近。Tは俺自身、全然持っていないかな。娘とか何とか、10万株ほどずつ持たせて。150円ぐらいで買ったやつだから・・もうね。だから、またガサッと。T自身は絶対に潰れないっていう保障やから。俺はまた下がって、ど底まで待っとして、もう目いっぱい買いをかけて行こうかなというのがわしの考え方。だから、電気株も一緒のことを考えとるやて。どこで、ど底を打つのか、それだけをゆっくり見たいなと思っとるんやて。嫌な性格や本当は。これね、性格で株に勝てんでないかなと思うやて。性格のいいやつとビビるやつは俺は株はちょっと難しいんでないかなと。私が思うにの話やよ。一番、勝てんのはやっぱりね、玉のないやつ。戦争できんとやっぱりね、株は勝てんな。俺、この間、HIを9%安く、下落しましたいうて、何か通知メールが入っていたもんで、その次の日、目いっぱい買ってやった。あの値段で250円で回れば75%にはならんでも、65%ぐらいに回ると。もう乗るかソルかでいってまえと思って。お正月やから。もう、これぐらいね、笑って勝負できんとやっぱりね、勝ちに行けんのやて。心が寂しくなるやろ？玉が凍ると。だんだんビビってこん？わしもよう昔はビビったことあるんやて。だから、下がるとやっぱり心がビビったらもう本当に勝てんよ。

真田 孔明：

そうするときは素直に休んでいたほうがいいですね。

北野会長：

休むか、本当はね、玉は残った玉をよく見れば、何で自分が引かなかったかわかる。恐らく孔明さんは、840円まで売ったTが800円ぐらいでも十分、行けると思ったか、そこを割ったところで買いを入れたか、ぐらいでない？考え方、800円。

真田 孔明：

下でずっとやっていたのですけど、それがどんどん下がってきたんで。追っかけて行ったらって感じですね。その予想をはるかに超えていったと 笑 そこで今、お休みですね。1回頭を冷やして。

北野会長：

下がった玉というのは、みんな、わかっと思うけども、玉が離れれば離れるほど、失敗した原因がどこにあるかっていうのは自分のものやから、そのときの心境はやっぱりよく覚えとらんと駄目や、次からそういう目に遭わないように、こういうこともあったんだ。だから、1個ずつが勉強さ。ところが、パッと手を挙げたうちに、フラフラッと孔明さんみたいに最初3万円しか儲けれんかったけど、次の月はガーっと上がっていったやろ？これ天才でないかなと。これ以上、教えたら俺が食われてしまうんでないかなと思うぐらい、すごかった。なかなかあれぐらいにはうまくはね、いく人は少ないんやて。今日は来ていないけど、誰か何か一時、パッと行って氷ついた人おった。

真田 孔明：

1カ月200万とか抜いて。

北野会長：

だからあこでは、フワフワと蝶のように足が軽くなると大体、捕まるんやて。そういう俺も同じ・・・本当に。恥ずかしい話やけど。もう何かね、五木ひろしになって絶好調になってしまうと何か俺に勝る者はおらんという感じが生まれてくるがやて。結局、自分に飲まれるはね。

真田 孔明：

皆さん、ビールですかね。最初は。

北野会長：

そうやね。まずビールやろね。

真田 孔明：

好きなものを頼んで大丈夫ですけど、ここにあるやつ。ビールの方います？生ビールですか？

店員：

ピッチャーでお持ちしてよろしいですか？

北野会長：

ピッチャーでもバケツでもええぞ、みたいなこと言うて 笑 何、クランベリーって初めて聞いた名前。

メンバー：

ジュースです。

北野会長：

ジュースはちょっとね。全然飲まん？ ああいつも飲まんもんなあ。

メンバー：

全然駄目です。

北野会長：

下戸か。

真田 孔明：

会長も四十いくつまで飲めなかった。

メンバー：

びっくりしたよね。

北野会長：

どんどん飲み始めた。もっと評判がよくなってね、酒を飲むようになったら。

メンバー：

それで始めたってということですか、酒を。

北野会長：

48ぐらい……。それまでは、何か車で走るのが好きで。BMで850とか、ベンツのツードア、何かアメ車やとか、そんなものを転がして喜んどったんやて。もう酒を飲んだら終わりやよ。もう酒を初めて飲んでグッタグタまで飲むやろ？もう酔っぱらって、どうなっているかはっきりわからない、本当に。

真田 孔明：

どっちが上か下かわからない 笑

サツチェル：

あやふや 笑

北野会長：

全然、本当にあやふや。人生ああなったら終わりやね。だから弁護士の先生に会ったときに、私の昔を感じたよ。清く、正しく、美しく。そういうところあるやん。ところがね、あの女の子のだらしなさのところへ入っていってしまうと、もう抜け道がないんやて。あっちはさ、敵

は仕事だからさ。いらっしゃい、いらっしゃいやろ？また、言わんでもいいのにさ、今日は暇やとかさ、最近、金、余っとるとか言って、また言うわけやろ？すごいよ。金も使うたな。でもね、あの金は一番、人生で役に立つ金かもしれん。

真田 孔明：

ちょうどOさんの年齢ぐらいで50歳ぐらいから飲み始めたってことは、Oさんも全然。

メンバー：

どうなんだろう。飲んだら吐きますけどね。

北野会長：

最初の1、2回やて。ビールもね、飲み過ぎると、どう言うのかな。顔が破裂して、あの世に行ったような感じから、今度ね、何か変になってくるんやて。もうどうでもいいわなんて思って酒を飲むとさ、人間っていうのは結構入るもんやよ。

真田 孔明：

商売がうまくいったんですね、逆に。

北野会長：

「最近、酒を飲んで歩いとる、みたいな話を聞くけど大丈夫か？」みたいな。「何を先生、言うとっるんや。焼酎の一升や二升持って来られ」と。こうなってみれば。「おお、みんな、行くぞ、行くぞ」ね。

真田 孔明：

確かにOさんが、酒を飲めるようになったら、何か人がいっぱい集まって・・・笑

北野会長：

あなたの知らない世界っていうのがあるやろ？ああいう感じになるやから。これね、嫌な話やけど、このビールや焼酎飲んどるよりは、日本酒を飲んでブチ切れてみれ？お前・・・ほんまに。もう、スーパーサイヤ人になったような 笑。人格が変わるんやて。日本酒は特に・・・酒飲みの人わかる？この話。日本酒はやはり人格が変わらん。ブランデーやワインと違う。ワインのこのどういふ？ワインはピッチが長い、酔うてくるね。長いやろ？俺はあれが好きなのや。それでいつ好きになったかも、いまだかつて不明なんだけど、酔っとるような酔っとらんような、効いたような効いとらんようなあの感覚。さわっとったか、どうしとったか、はっきりわからん。これがね、何とも言われん。この脈を打っとるね。これがやはりワインのよさやね。孔明さんに騙されて・・・

サツチェル：

ワインのおかげで・・・ありがたい。

北野会長：

それがちょっと口に合うとブレーキがかからんタイプなんや。

サッチェル：

音声でうまい、うまいおっしゃっていましたもんね。

北野会長：

本当、聞いた？音声でや、うまかったわ。俺もあんなにスラスラと・・・居酒屋に行った帰りの話やからね。ちょっと事務所へみたいなことを言うて。あれ？悪いやつに捕まった？みたいな、ひどいもんやわ。最近は酒も自重しとるんやけどね。酔うた口が自重しとるんやけど、口はどんどん開いて、ビールはどんどん入っていくやろ？弱っとる。欠点はこれだけぐらい。1年の計やから、みんな、女とその食事代ぐらい株で儲けられればそれで十分。1,000万、孔明さんはいったけど、これは大したもんやて。サッチェルも何かヒットを2本ほど打ったんでないか？

サッチェル：

僕はまだ・・・。僕は結局、240~50ぐらいで・・・。

北野会長：

240~50ならお前、2割打者ほどやの。そうやろ？

真田 孔明：

何か一撃で500万、抜いた人がいますよね。あれ弾を1億ぐらい持ってますよね。5,000万ぐらいやっていますよね。

北野会長：

感性があって、さすが門をくぐって来た人。だから、恐らく言っとること、大体、入ってきとるてね。Oさんはどう？だいぶ入ってきているの。

メンバー：

2カ月やって月40ずつです。

北野会長：

固いね。

メンバー：

毎日2万円。たまにボンって30万ぐらいのときはありますけど。

真田 孔明：

SHでも塩づいていないんですか。

メンバー：

SHもNEもTもみんなここまで行って、え、行っちゃうのみたいな、もうちょっと上がらないと・・・。

北野会長：

結局、弾勝負というのはそこなんやね。今すごいいいことを彼が言ったんやけど。こうやってきて受け皿できたけど、ここで止まらなくてダラダラと下がると。うちの娘もこの間そんな話をしていたから、俺は娘に言ってやった。「お前、じゃ、今度から買おうかなと思ったら売れ」と。これもね、俺、昔やったことあるんやて。それで、さっき言ったロングとショートやけど、普通はさ、例えばロングとショートっていうのは、輸出株と国内株を7：3に分ける。こういうゲームなんやてね。俺、昔ずっとそういうこともやったこともあるが、一時期。それでふっと思ったんやて。博打場のバンカープレイヤー、丁半はさ、片一方はなくなるやろ？負けたら。ところが株っていうのはね、わかる。このグラス。俺が7張ったと。3を下りに張ったと。これ線引きにね。買い、こっち売り。その日、例えばこっちが買いやな。上がったもこれを売るやよ。下がったらこの3を処理するんやて。波打ち際、波がチャカチャカチャカしとるときには、これがかなり有望なんやて。たまたまこの間、村上ファンドで何か両建てはよくないみたいなことを、あれははれでね。あれは買いを100万株、買いを朝かけて。真夜中にかけて。朝、キャンセルをかけとったわけや、両建てを。これが何か違法みたい。

真田 孔明：

分けたほうがいいっていう今日もアナウンスをしたんですけどね・・・ゴールドの。

北野会長：

俺もだから、そこがまさかさ、お前、1万株しかやっとなんものをさ、違法やって言うて法律でばっかけるというのはひどいよ。有罪判決をとったって、何も・・・そういうこともこれからは考えて。俺は結構ね、一番最初からその話をしたけど、チラチラとは言うとするんけど。

真田 孔明：

でも、これは弾がないと駄目だし、居合抜きの基礎ができていないとやっぱり難しいですね。最初、片方しか見ていないと。

サッチェル：

対応できない、片方も見られないのに。

北野会長：

でほ、孔明さんはしょっぱなからブルの方行ったやてね。

真田 孔明：

買い。

北野会長：

俺はね、昔からベアのがやて。俺は系統がベア系統なのが、系統が。だから、ベアを待っとる。あんたはほ、買いやから。ところがね、これもね、体質が違うんやて。きっと・・・俺わからんけど。俺はだからベア体質やから、どうしても狙っとるのがベア体質なんやて。

真田 孔明：

浅く浅くなのすね。

北野会長：

買いはね、だから常に買いなんてあんなもの薄切りやと。暇潰しにやっ取るんやと。

真田 孔明：

相場の波の具合を見るために、釣りしてるみたいな。

北野会長：

穂先ちょっと突っついとるないぐらいの感じなんやて。ずっとこうやって見ながら、ドボンとタイがグッと引く。この瞬間をバンと・・・これを狙っとるわけやな。俺は。この間もひょっとしたら孔明さんのところにメールを打った、ブラックマンデーの走りかなという日があったんやて。

真田 孔明：

確かに落ちましたよね。そのときからポ～ンって。

北野会長：

あれぐらい一撃やろ？一撃ではね、大した甘くないね。一撃で撃ったんやよ、俺も。あれバンバンと来るかなと思っとったんやけど、全然あかん、寂しいいう感じで。あこでもう2、3発いけば1億ぐらいは楽に釣れるなと、その前の山東省爆発みたいなもんでさ。チョンチョンチョンコーンで次、ドンってこうなるとすごいなと。これはよかったなというのは俺の感覚。上げはさ、ブルは、こんなに上げてはいかんやろ？ないんやて。俺ね、四十何年、相場をやっていて、上げがダーっと、昔バブル時期に1日2,000円ぐらいずつ上がっとったことはあったよ。ダウが2,000円ずつ上がるとるんやから、本当。孔明さん何か、サイトに書いてあるやろ？昔はバカでも儲かった。だからもうね、何でこの薄切りが好きになったかって言うたら、本当は薄切りばかりやったの俺も・・・居合切りだけ。それがね、本当は、書いとったの、昔。こまめに。こんだけで売ってこんだけで買って・・・単価書いてね。

真田 孔明：

物販のように。

北野会長：

これをやっと思った。ところが、毎日、相場が上がるやろ？任天堂のガチャンで、ピンポンピンポン。朝9時から3時までつかりっきりさ。

真田 孔明：

次女さんがファミコンをやりたいのにパパが占領して 笑

北野会長：

それぐらい。だからそのうちに金がどんどん集まってくるやろ？そしたら、自分の持っとる画面に出るやろ？プラスやったら全部売る。どれだけ上がるとか下がる関係ない。もうつけとる時間で見てね。そんで、今度、下がったものをバーっと相場の画面の中から拾い出してマイナスいうやつ。それを適当にダーっと買っていくが。これホンマ、バカでも儲かるや。一番上がったとき1日2,000円ほどやったけど、200円・・・わしが相場をやったときには6,000円いっとらんだから。ダウが。それが4万円、39,800円までいったんやから。

真田 孔明：

日経平均が。

北野会長：

日経平均が。

真田 孔明：

6,000円の日本円からスタートして。

北野会長：

6倍以上になってるわけやろ？どんなバカがやっとっても勝てた・・・本当は。一番ね、儲かったのは電気株。電気は下がったら何でもいいから、もう電気いうところが下がったら全部買っておく。それでそのときも上がったり下がったりはしとったよ。でも、プラスの日はゴンとプラスになるんやから。6倍になる株やから・・・そうやろ？バカがやっっても勝てるがやて。

真田 孔明：

よくそこですぐに手仕舞いしようと思いましたよね。そのときに。

北野会長：

あれね、あんたがそんなことを言わなかった。あんたのサイトやったか。お母さんが買うたまんまずとって持っていたら元の木阿弥になってもっと下がったという話あったやろ？俺もその話を聞いた。先輩か誰かに聞いて。わしはほら、元来が何十銭の商売人やから。

真田 孔明：

薬とかの。

北野会長：

薬の、薬は何円何十銭のやて。今のシャバにない単価のやて。でも、だた売っている薬が例えば1,000錠、1万錠という単位やから金にはなるわけや。小さいんよ。ダイヤの次に小さいんやから・・・薬は。確かにね、商売柄もあると思う。だから、俺は薬を売っとるときも、20銭でも何十銭でもええんやて。バーっと売りまくったやつが絶対に強いと俺は思っとるんや。例えば案件でもさ、先生聞いとる？案件でもダーっと入れて、どうあれ。判決はどうあれダーっとこなしていった先生のほうが勝てばもっと良い。勝たなくても先生のところは報酬が入ってくるやろ？どんどんと、同じことなんやて。だから、こなさなきゃやっぱりね、やっぱり人気者にはならん。先生やったらみんな勝ったんでない・・・人気になるやろ？

メンバー：

負けるてばかりです。

北野会長：

本当？やだね。結局、結婚式、決まった？何か？

メンバー：

そうですね。誕生日を孔明さんに見ていただこうと思って。

真田 孔明：

彼女できたんですか。おー（拍手）。

メンバー：

今年39になって。

真田 孔明：

タメですからね。

メンバー：

結婚するかどうかっていうのがないので。

メンバー：

相手はどうなんですか？

メンバー：

わかりません。

真田 孔明：

相手は何歳ですか？

メンバー：

また後ほど 笑

真田 孔明：

上、下？

メンバー：

下です。

北野会長：

先生、頭いいけども、あんたね、消極的やから前に進まんが。女も株もバンバン行かなきゃあかんよ、本当に。もっと積極的にならないと頭はいいけど前に出てこんだら本当にね、握手もできんよ先生。とわしは。わしの感覚では思うけどね。

サッチェル：

すごいですね。どこで出会ったんですか？

メンバー：

いや、まあいろいろ。

メンバー：

茶化されるからか。秘密クラブの。

北野会長：

ここにおる人、誰もタバコを吸わないの？パスタ食べてからにしよう。

真田 孔明：

でも、普通はそこで勝ち出すとみんなそこで走るじゃないですか？買いとか、ずっと。あと欲出したり。それをしないのがすごいですよね？

北野会長：

そうやね・・・。

真田 孔明：

何でそうやって走らないのか。そんなにおいしい目に遭ったら普通は、そのまま走りそうですけどね、買いとかに。

北野会長：

わしのときには、ブラックマンデーというのが来たが。それで、そのときに相場をやっていたやつ
の僕の友だちの失礼やけど85%は死んだの。それもあんたらち言うよ。でっかい借金して、
経営者やから。バブルであおられとるやろ？目いっぱい借金して株をやったわけよ。ワッセワッ
セやって女にも貢いでさ。「お前、家も建ててやる、車も買ってやる」ってやったわけよ。毎
日この銀座に来て、銀座のお姉ちゃんのこう服をバンと下ろしておっぱいをチュッと吸って、
おあいそ100万、言うても仕方ないやろと。そういうバカな日もあったわけよ。その時分に毎
日、ニューオータニに泊まって、ひどいときは布団をかぶって半日、笑とった、半日やよ。
でも金っていうのはね、あっちゅう間に消えるんやて・・・本当に。怖いもの。だから、バブル
の頂上におったとき、銀座のお姉さんらちは、銀座の店におったわけや。あ、孔明さんのおあ
いそ、私、持ちねってピンハネしとったわけ、どんどこどんどこと。バブルがバンと弾けたや
ろ。孔明さん、金を持って来んわけよ。会うても持って来んわけや。Mだけは持って来るか？
あの人も持ってこんだと。みんな、そのツケを抱えてみんな吉原に行った。

真田 孔明：

一気に転落。

北野会長：

そうよ。本当に。

真田 孔明：

恐ろしい話ですよ。

北野会長：

男が飛ぶと、巻き込まれる女もたくさんおったわけよ。

真田 孔明：

戦争の時代も今の時代も一緒だと。でも会長は何でそのときにそんな激しい使い方をしていな
かったんですかね？

北野会長：

激しい使い方・・・あのバブルで下がるいうところが俺は好きやった。

真田 孔明：

既に。

北野会長：

高校たまにしか行っとらんけど、学校に遅刻するもんでさ。冬になると特に10時以降でない
と学校に到着せんわけやないかい。よく「お前、熊みたいなやつや」よく言われとった。それ
と株の単語が一緒やったもんで、あれが俺を救った。あれね、38,000円ぐらいから1回ドンと
落ちたときに、確かにこの方法で売りもあったと。イチかバチかやったわけや。持っとる玉を

全部売っぱらって、また、その玉をわからんがやて。自分もわからんけど。持っとる玉を全部手仕舞いして、一緒なものを空売りをかけたんやて。

真田 孔明：

さすが陽創門 笑

北野会長：

ほんとね、今だから言える恥ずかしい話で、あれが俺の人生で最大のカケ。それがさ、ダーいうて下がっていったやろ？証券会社に電話して怖いもんでさ。「これ、どうなるの？どうなるの？」言うたら「ものすごい儲けです」何かね。あの日はビビったわ。ずっとそんな日が続いたやろ・・・全部儲けって言われた瞬間にね、本当にここから足が飛び出した。

真田 孔明：

それは何歳のときだったんですか？そのときちょうど。

北野会長：

平成2年、63年、64年の終わりやから・・・

メンバー：

25年ぐらい前。

北野会長：

大分前のがや、65から26。

メンバー：

1991年とか2年ですよ。

北野会長：

そんなもんやね。

メンバー：

25年前です。

メンバー：

40。

真田 孔明：

算数ができなかった 笑

北野会長：

あれが終わった時期があったね、終わってね、22,500円ぐらいで高止まりで。38,000円から、お前、土砂崩れいうもんじゃないやろ？ここまで下がれば。あんときに、ふっと思ったんやて。あ、そうやな。車も1台いるしなって、あれや。ワインを飲むね。格好をつけとる時期やね。クルーザーに髪の長い女を乗せてワインを・・・ポスター見て「あれ、クルーザーを見せて・・・買うわ、ベンツも1台、注文しといてくれ」そんなもん二つ合わせて6,800万、安い。こんな感じやもん。だからイケイケじゃ。ところが22,000円で止まらんだろ・・・相場が。何となくそういう気がしたの。またこの間、孔明、ブラックマンデー思うてさ。よし、今度は一緒に玉を知っとる玉しか売れんから。もういっぺん、叩いてやろうと。どっちみち儲かったんやし。車も買ってクルーザーも港に着いとるやないかい。行ってまえみたいなもんやて。また勝負をしたら下がってさ。金ってこんなに簡単にね、バカンいうてこうね増えていくがやから。だから、皆さんに、今日、山を掴んでバンと掴んだら気持ちが晴れるよみたいなバカなことを言うとするわけよ。俺は。

サッチェル：

売るか・・・

北野会長：

失礼やけど、買いは食事代しか出ん。1,000万を稼いでも、孔明はまだ1,000万の食事代を払ったことがないから、まだ大丈夫やと思った。ちょっと遊び始めて1,000万ぐらいね、すぐに溶ける。すぐに溶けていく。でもね、みんなほとんどあのときに会社をみんな潰した人が多かった。バブルが弾けたら株は下がるわ、仕事はなくなるわやろ？両ビンタ食らったみたいなもんやから。やっぱり一気にイカれた。

真田 孔明：

そこからこの銀座は閑散としたわけですね。

北野会長：

銀座なんてものすごかったよ・・・本当に。悪いいうもんでなかった。

真田 孔明：

みんなあぶく銭で来ていたわけでもんね。

北野会長：

そうそう。洗濯機に水を張って石けん粉を入れてさ。回したら泡が吹くやろ？あれやもんね。こうやって泡を吹いたけど実態経済に戻ったらこうだったみたいなような感じ。でも、本当はね、あれを止めたのは金融改革。あこで金融改革をやらなきゃあのまま行っとるて。まだ、あのまま行ったって、所詮は墜落の・・・

真田 孔明：

いつかは来る。

北野会長：

と思うけども。わしらの先輩、だから銀座のそのね、界限を猿のように走り回ったのをよく知っとるんやけど。花を売っとるおばちゃんにさ、毎日、みんな夕方5時になると1万円札を畳む。こうやって折ってさ、四角いボックスにする。それをおばちゃんにこうやって。今日どこの社長と鷹が上がっていったみたいなことで。おばちゃんに聞いとるわけ。「この社長とあの社長が上がっていきましてよ」いうて。「おお、ありがとう」って渡すわけ。札で渡したらみっともないやろ？だからおばちゃんに、おばちゃんは花1本、おばちゃんは1万円札もらって。

真田 孔明：

花1本1万円。

北野会長：

それを、お姉ちゃんに、「ああ、久しぶりやね。愛しているよ」って言うて、毎日、言うとするわけよ。こうやって。愛しているよって。花を1本、渡して。あっちに「あっ！社長、久しぶり。今日、いい物件、出ましてね。今、権利書が届いたところなんですよ。これ買っておきません？」500万プラスで。私が買った値段の500万プラスで。あんたには絶対に損はさせんから、それ以上の値段で必ず転売しますから・・・もう毎日。銀座の店中、この会話で持ちきりだった。一番ね、頂上は、頂上はママがこう入って来てさ。こんなにして飲んどるんやよ、銀座いったって。「今日、入店した〇〇ちゃんです」って言うがやて、ママが。そしたらさ、社長は大分、酔っぱらっとるんやて「お、200ほど、どうや？今日？」孔明さんがさ「300や、300」先生はこっちでさ「俺500や。500でどうや？」こんなんや・・・もう抽選引き・・・今日入ったいうだけでやぞ？

真田 孔明：

500でどういうことをするんですか？

北野会長：

今日、おセックスしましょうかいう話。

真田 孔明：

いきなりそこなんですな。

北野会長：

それ以外で誰が500出す？歌を歌うから500万出すか？それぐらい女の価値も銭の価値も。

サッチェル：

バブルだったわけですね。

北野会長：

俺はいつも言っとるけど、命をまず大事にする、まず生き延びることや。孔明さんがそこら辺、何か書とるから。先生は女を大事にせなあかん。何かいつも青白い顔をして。お前ね、女も、お前、幽霊が横におるように思うたら寂しいやろがよ。酒を飲んだらさ、にぎやかになってさ。スカートの中に頭を入れれとは言わんけども。それも練習して。やっぱり体質改善みたいなもんで難しいんやて。これね、初めてやれいうてもね、これね、できない人からいうと、本当に難しい。俺の売りも、俺、何となく思うんやけど、みんなほ、凍り付く人ばかりが多いやろ？あんたはほ、買いから入ったやろ？買いは得意や。だから、みんな、何となく。みんなこうやって凍り付いている・・きっと。あんたもそう。凍り付いとる、玉が。ああ、やっぱり。だから、俺はさっき言わんだけれども。孔明、失礼やから。これはやっぱりね、あんたのあれがでかい・・影響が。これはやっぱりブルタイプやから。俺はほ、あんたらちは恐らくほとんど聞こえとらんと思うけども、お食っクス、お食事をするためにやれと、こういう具合にずっと言っとるはずなんやけど、孔明さんがそれを上手に薄切りするもんやから、金はプラスやと。みんなほ、後ろから、こればかり練習しとるんやて。これが一番の原因でないかなと、わしの感じとることやよ。誰一人、俺の前で、カサ切り斬りはどの時期ですか？って言うたのは一人もおらんで。この間、香港の彼、一番最後に来たやつ。香港に住んどって。

真田 孔明：

Tさん。

北野会長：

Tさんが、俺の横に来てうるさいスナックで。「会長、俺～～横に来てしゃべる」聞こえないの、うるさくて。何の話？って言うたら、カサ斬りと辻斬りは違うんでしょ？違うんでしょ？って言うから、それは全然、違うんやて。自分はこっちのほうをあれ初めてやぞ。俺に。このカサ斬り、辻斬りっていうどこに焦点があるのかっていう話をしたのは。だから、全体はあんたが薄く斬る、俺は薄く食事代を抜く程度で10万、20万というところが一番綺麗でいいのかなと。それでも積み重ねれば7カ月ほどで、1,000万円ほどになっとるんやから、大したもんや。だから、これ何もせんと今の玉を弾さえ持っとれば10倍、それこそ1,000株のやつを1万株にしておけばさ、1億やぞ？そうやろ？だから、1億を抜くと、また1億の病気が始まる。あのね、1億の病気というのはあるがやちゃ。これね、1億を超えたらね、ちょっとチョウチョになるが。人間が。俺ぐらい落ち着いとれば何も問題ないんやけど。孔明は、来月、1億抜いてみ。お前。病気になるぞ。孔明さん、足が浮いてますよ。本当にそうなるがやて。サイヤ人を超えてしまう。スーパーサイヤ人なってしもうて。俺も頭も黄色にするかみたいなことを・・笑

真田 孔明：

売りをやっていて怖いのは、今、量的質的金融緩和の最中じゃないですか？それも怖いんですよね。

メンバー：

最初は売りと両建てでやっていたんだけど、バズーカーの話がどうも耳に入ってくるから、ちょっと怖いんですよ。売りは今やって・・

北野会長：

俺もね、あの暴落でやよ。2発目で玉を売ったもんな。昔だったら頑張るところなんやけど、ここがいかんのや・・ビビって。

真田 孔明：

黒田先生のこれが・・。

北野会長：

バズーカーでやられたらやろ？ 笑

真田 孔明：

「カ～メ～ハ～メ～」ってやっていますからね 笑

北野会長：

でもね、この間ブラックマンデーでないか言うてメールを打ったときも、さすが1発目で、俺は降りた、1発目で。ドンと来たからもう万が一、やられたら元も子もないと。ええわ手仕舞いをバンとするわいって言って手仕舞いした・・先物を。やっぱりあれで躍ったんやて。あこをもうしぶとくさ、手仕舞いせんで引っ張ったら今度、俺がやられる・・ダンいうて。だから、未練残すな、金残せってさ。

真田 孔明：

売りから入るのは最初に僕が売り失敗したっていうのもありますけど、何か終わっちゃうとそこに戻るのがすごい大変。Tはたまたま、六百何十円まで戻っていますけど。ちょっとそれが怖いですよ。

北野会長：

怖い。だから、売りはね、腹を据えていかんと先物であろうが一緒な玉を売るにしろ何か嫌な気がするやろ？でもね、我々がやっとなる商い株の多いやつは、いつでも買戻しはできるんやから。だから、それを最初からほ、つまりいたやろ？大砲を作りにいったけど、大砲ができなかった。あれはカメハメハの失敗みたいなような話だから、俺も何とも言えんけど。だから、何となく全体が居合だけ1本で片方が振れとらんような気がするんやて・・俺はね。これはね本当の話、正直な話。こっちは何十万かあればええわ。ただ、ジョホールバルで車を買うときさ、ここら辺は真剣のがちゃ。今度、今日はアラ斬りせんと、500万ほど銭かかるんやから。カムリで500万もするのあの国だけやね？500万、何とか稼がないとどうしようもないから踏ん張るんやて。今日、ここでもう1日待って、明日売ろうとかさ。ちょうどカタカタと上がってくれて、パカッと取れたからよかったけど・・嫌だったね。やっぱり2日、3日、引っ張るちゃ本当にね、俺の性と合わんがやて。

真田 孔明：

買いは合わないんですね？

北野会長：

買いはね、買いで踏ん張るとロクなことがないんやて、今まで。だから、未練残すな、金残せっていうとって嬉しかったやろ？何でったら、あれは切ってしまつとるからからなんやて。次の日も上がったと。いや、失敗したないうて。言うとるけど頭はこうやけど、顔は笑つとるって、あれ。

サッチェル：

確かに。

北野会長：

そうやろ？

サッチェル：

そうですね。

北野会長：

人間って本当に嫌なものでね。ずっと昨日、売らんだらもう10万抜けとったのと思うけども、その顔は笑つとるんやて。俺が言いたいのは、ただこの笑顔をどうやってつくるかっていうのはそこのがやて。だから、本気を出して向かって行くときは、辻斬りのときは特に待ち伏せして孔明を殺さんたら俺が殺されるぐらいの腹を持って行かんと勝てんのや、腹積もりがね。だから何かそこを俺は間違つて。あんたの指導が悪いとは言わんよ。だけど、あんたはそれで成功した、だから、全くブルタイプなんやて。ニューヨークに行ってちょっとブルにお尻でも触つてさ、モーって言うてくれるかもしれんよ。

真田 孔明：

来年はベアのタイミングだけを見て・・・。

北野会長：

でもね、これは難しい。その本質、人間の本質。俺、門の話はわからんけど。本質っていうのはあるから。やっぱり全部がそこに向いとるのかは、わからんよ。でも、やっぱり体質と何かあるみたいよ。

真田 孔明：

て言って僕がベアを始めた途端、量的質的金融緩和でド〜ンありそうだね 笑 大砲打ち込まれて 笑

北野会長：

だから、こういうことになるんやて。本当にね、嫌な話だけど、向いていないっていう人がやると本当にね、逆周りするがやて。

真田 孔明：

だから、売りも買いもチビチビチビチビやっていかないとね。

サッチェル：

まずは弾を用意して、両建てがいい。

真田 孔明：

二刀流。

サッチェル：

チビチビ、両方スパスパ。

メンバー：

会長の見立てだと黒田バズーカーどれぐらいに打たれるって今のところ見立てられていますかね。

北野会長：

俺はね、この間のタイミングで3,000億円のETFじゃなくて、あこでバンと200兆緩和すると。敵がおったら向かって来なさいみたいな気持ちで言えば株は一気に突き抜けた。

サッチェル：

一瞬、上がりましたもんね。

北野会長：

昔はああいうバカな総理大臣がおったが。だから、1日2,000円ずつ、1,000円、2,000円ずつ上がるわけや。あの日上がったのたったの700円ほどやる？

メンバー：

たった700円。

北野会長：

俺から見たら小さな日記につづられとるような小さな話や。あこでバ〜ンとムチを入れれば行くわけよ、ダーいうて・・・あの勢いやから、直滑降やからね。

サツチェル：

ちょうどリアルタイムで見ていたんですけど、チャートと数字が連動しなかったです、あの楽天の。壊れたかと思いました。僕、初めてだったんで壊れていると思って・・・みんな一気に上がって。

北野会長：

だから、投資家っていうのはみんなそこやて。こうやって揺れ動いているやろ？そこやて。そこでさ、わかったいう女が一人おったらさ。みんな沸き立つやろがよ？それと同じなんやて。その気持ちがね。本当はみんな、あれを待ってさ。ダーっと買い上がったわけや。ゆうたら3,000億円のETF、みんなこうやわな？外人もああ、もうこれはあかんと。

真田 孔明：

やっぱり売り売りって。

北野会長：

もう売りや売りや。全部売っぱらえ。ダーって売るわけよ。そこにね、人間ちゃさ、今の俺の手と一緒にさ。力が抜けたらダンと下がるタイプや。これがやっぱりあの恐らく衝撃を生んだ。本当にね、株っていうのは人の心の先読みちゅうもんかさ、心の数字やからね。こうやって計算できんのかやて、言い訳もできんし。心の数字が表していくから、だから、俺の考えは、上げはゆっくりと、こんな上げはねえやから、この間あったけど。

サツチェル：

一瞬すごかったですね

北野会長：

あれがあのままもし200兆、言うたら、2,000円ぐらい突き上がっているよ。

真田 孔明：

危ない 笑。

北野会長：

2,000円。そんな時に万が一、売りをかけとって・・・お前。

真田 孔明：

売りだっていって今度、ありそだよ。

北野会長：

ここのガラス割ってください。僕飛び降ります 笑

真田 孔明：

しかも信用しかできないからね売りは・・・一瞬で行くよね、そしたら。

北野会長：

だから、あれの感覚。俺はだから皆さんには失礼なんだけど、それだけを狙っとる男なんやて。あんなもんね、俺にしたら5万や10万ずつ金を抜くなんてね、簡単。そんなもの両建てを掛けて金の玉さえいっぱい持っとれば、食事代ぐらい毎日、抜けるから。両建てしとるんやから。丁半張ったって絶対に玉はなくならんやろ？買った分だけが残っとるだけなんやから。そうやる。買戻しをすればええやないかい。金さえ持っとれば何ぼでも買戻しはできるんや。俺はいつもそう思っとる。だから、金のいるときには両建てを掛けておいて、一番ね、やりやすいのはTとかさ、SBとか、あこら辺はやりやすいんやて。100円ぐらいずついつも上がったたり下がったりしとるから。

店員：

失礼いたします。本日のメニューを・・・。

北野会長：

あれを掛けておくと。だから、車が欲しくなったときとかさ。手ごろな買い物をせんならんときは、あこら辺を仕掛けておくと、玉がいるがて・・・7,000万単位の銭は必要やから。

メンバー：

7,000万円。

北野会長：

7,000万、建てておけば100万ずつ定期預金をいつも下ろしとるような雰囲気になるがやて。後は残ったら、その目的の金まで掴むやろ？500万ほど掴んだら、後は買戻しに銭を払うか、信用でもね、3%しか利息がかからんのやから。3%払ろうて、そういうバカなことを思ってエヘしとると、また値段戻ったりする・・・結構。だから皆さんもそこら辺、来年の課題として、うまくいかんときは売りも考えてということを頭に入れて本当はおってもらえば。Tさん以外にその話をした人は誰もおらんもんね。この12回話をしている。だから、それも脳にインプットしてやっていただくといいんでないかなと。

サッチェル：

まず買い建てをまず処分して。弾を用意しないと。

真田 孔明：

Tが戻って。

メンバー：

Tが戻って。

真田 孔明：

って思っているとどんどん下がってくる。

北野会長：

そうそう本当にそんなんやて。上げはさ、細かい銭は結構抜けるんやて。下げほどは絶対に死んでも抜けんがね。でも、下げて1発抜いたら、覚せい剤を打つとるみたいなもんで、今度やめられなくなる。覚せい剤の・・あれまたクセになってね・・本当に。あれはクセになるよ。この間、なぜか珍しくあの1発目で引いた。

真田 孔明：

勘がすごいですね。

北野会長：

何があるかわからんから、毎日、人にさ、未練残すな、金残せって自分が引っ張とって失敗したら弱るしと思ってさ・・本当にそうやよ。だから、今まで以上に慎重に相場とつき合うようになったね。

サッチェル：

本当にそのお言葉で結構、助かっている部分はありますよ。

北野会長：

そんなんやて、本当に。

サッチェル：

聞いてよかったっていう。

北野会長：

こうやって見ると、1割損したら株を売りましょうというサイトもあるね。あれは最高のサイトやよ 笑 あの人がいるからこそ、我々がね、食べていけるのやから。

真田 孔明：

黒田バズーカーに年間200兆っていう話は今でも上がっているんですかね。

北野会長：

上がるとる。

真田 孔明：

200兆ですよ。

北野会長：

200兆やったらすごいよ。でもね、俺が聞いとる話では今、GDPを600兆まで上げる言うとするやろ？あれがもし成功したら、世界の指針になると。今日、原子が何か日本が見つけたいう話があったやない？あれに次ぐものでないかぐらい言われとるんやよ。世界の総理大臣、大統領が安倍さんがもし、600兆成功したらやよ。これから大統領や総理大臣はGDPを目安に世間を語るようになるんやと。

真田 孔明：

最近、日本が何の委員会でしたっけ。あれの代表になりましたよね・・・世界の。何だっけな？諮問委員会、海外の経済か何かの。リーダーシップを取っているいろんな対策をしなければいけないというあれの代表になりましたよね？日本。何だっけな。あれ。結構有名な組織か何かの。日本がリーダーシップを取ってやっていく的なニュース。

サッチェル：

日経持っているよ。

メンバー：

クランベリージュースをお願いします。炭酸水をお願いします。

店員：

以上でよろしいですか？

真田 孔明：

ビールは？

メンバー：

頼みました。

北野会長：

悪いね。何か俺だけで飲んどる、ビールは余り飲みたくないんやけど。

メンバー：

会長、済みません。僕がどうしてもわからないことがあって、SHなんですけど、SHが今120円ぐらいであって、クって上がってすぐに戻ってっていうのを、5、6回繰り返しているじゃないですか。あれクって上がっているタイミングが全然、何か僕には理解できなくて。特に何かプラス材料があるわけでもない。急にクンって上がって、すぐに下がるじゃないですか？

北野会長：

だから、経済の状態と株とは全く連動しとらんがやて。思想、思想が連動しとるんやて。例えば、SHはまだ生き延びられると思った人が130円に上げるがやて、それでSHは絶対に駄目やいうて叩き落とすやつがおるがやて。

サッチェル：

波がすごくね。しばらく緩やかでいきなりバコンって上がるときがあるじゃないですか？あれは仕手なんですか？

北野会長：

仕手に決まっとる。知っています、仕手ですよいうぐらい。全部が株っていうのは全部仕手やいうてもいいほど。じゃ最高益を叩き出したTの株を誰があんなひどいバカのように売っとるかいうたらおかしいんでない？

サッチェル：

そうですね。

メンバー：

SHなんて本当に僕みたいな素人が見ても、一瞬上がって、一瞬下がるのがもう5回ぐらいやっているのわかるのに、何であんな130円まで上がったときに買う人がいるんだらうってすごい不思議だったんですけど。それは上がっていくと思っている人が、思想の人がいらっしゃる？

北野会長：

ところが130円でもっと上がるやろう言うて買うやろ？そしたら、今度、空売りガタンとね、バンとかけるわけ。だから、ドンとまた・・・また120円。だから、同じさ。例えば目をつけるやろ？目をつけたらどこが底かいうまで我慢して見るか。130円で買った。125円で買った。120円で買った・・・今わかった？130円、125円、120円やろ？目開いとる？今日・・・

メンバー：

開いています。

北野会長：

辛いような顔をしとるよ。

メンバー：

朝まで飲んでいました。

北野会長：

そうやろ。

メンバー：

朝まで。

北野会長：

嫌だね。こうやって見たときに、こうやって見たときに。さっき俺が言うと思った125円でこれセットをかけたらキツない？両建てでさ、買いと売りと両方かけたりさ。130円で両方かけて・・130円でも同じことのやて。120円で売りの玉を手仕舞いすればいいし、130円になったらトントン、これをやっとなんやて俺の場合は。一番多いのはこの手口かね。その当日に両建てをかけたるんでない。だから、ちょっと2円高いときに今度、逆に売りをかけたりさ。そういうことをするのが好きなのよ、俺。

真田 孔明：

このギャップがあるところで。

北野会長：

ギャップ・・

真田 孔明：

買いと売りで。

北野会長：

一緒の130で両建てをかけたるのはおかしいやろ？買いと売り。だから、そんなものその日でも1円や2円、いつも違っとるんやから。そんなもん。そういうことは結構するね。たまにね、玉が残ることもある。ダダと下がってさ。こっちは儲かったけど、タダで買ったやつがそのまま氷づいとるって結構あるね。俺のは「ま、ええわい。配当金だけのプラスや」みたいなもんで。それは現引きしちゃうで。俺は信用で買って置いて、3%の利息もバカくさいからいうて現引きパンとかけるんやて。だから、そういうことをするために婿はんや娘らちには言わんけど、これが勝負なんやて、本当は。これやれば現引きしとればええんやから、もう何の問題もないやろ？

サツチェル：

そうですね。塩づいたら現引きしちゃえばいいんですよ。

北野会長：

というような感じがあるがやて。

サツチェル：

現引きだったら上がるまで待っておけばいいんですよ。

北野会長：

上がったら、上がって1円でも2円でも儲かったら、手仕舞いをかけておくと。

サッチェル：

下でもう取っているんですね。

北野会長：

このいやらしいこの考え方っていうのは余り人に言えない。

サッチェル：

弾がね 笑

北野会長：

弾を持つととね、こういうことが簡単にね、できる。それでも今年は苦しみましたよ。去年、今頃、投信は40~50%孔明さんに渡してさ。去年、俺もだから脳がおかしくなった。投信が40~50%、株のほう落ちとるんやから。俺のこの左腕も大したことないと・・・投信に負けるようになったらもう人生は終わりやと思うぐらいのじゃ。今年は投信は負ける。さっきも言ったんやけど、急落がなかったら先物に手を出さんたら本当に今年、ヘタしたらプラスマイナスでやれとったような感じ。

真田 孔明：

異常気象が多発。

北野会長：

異常気象。本当に、ゾクゾクとするような嫌な。去年みたいにね、投信50%ずつも上がってもろうても何か迷惑のようなね。ラスベガスのおじさんにね、小切手だけ持って行ってくれっていうてね、言われても何となくいいような悪いような話でもあったような気がするけれども。

メンバー：

灰皿。僕、使わないので。電子タバコ。

サッチェル：

変わった、色が。

北野会長：

あんたらち、タバコで肺がんになるなんて嘘やよ。お前、考えみれや。北京で、上海でさ。PM2.5やよ。あれ、みんな普通の人は24時間吸っとるやろ？150万人ほど、150万人死んでたら大変なことやの？

真田 孔明：

まずは1年、生き延びて、そこから・・・。

北野会長：

これはやっぱりね、両方を会得せんとやっぱり難しいやね。

真田 孔明：

来年は両建てだ。

北野会長：

玉っていうのはね、右肩上がりばかりでないから。これ右肩下がりのときに生きとらんと全部氷づいてさ。身動きが取れなくなるがやてね。

真田 孔明：

次、黒田バズーカーが発動したときから、売りを始める 笑

メンバー：

それ1発、打ってくれないと。

真田 孔明：

打ってくれないと怖いですよ。あの上がり具合見ちゃうと・・・。

北野会長：

俺、今の孔明さんの話を聞いて思うんやけど、黒田バズーカーもなかなか出んな、孔明さんがそれぐらい思っとるんやったら。

真田 孔明：

逆にね。逆なんですよ。

北野会長：

人の心理ちゃ、常にそんなもん。

真田 孔明：

日銀も勝ちにいつているわけですよ。困らせて何ぼなわけなんですよ・・・ある意味。

北野会長：

株っちゃさ、人の神経を逆なでするところがあるやろ？本当に・・・あるがやて。

真田 孔明：

常に真逆を行いますよね。

北野会長：

そうそう。

真田 孔明：

心理の。集団心理の。

北野会長：

やっぱり相手はさ、ヘッジファンドやろ？外国勢、外国勢が買いに回ると日本株は上がるしかないやちゃね。外人が買ったいうと、日本の個人投資家も結構それを追撃して追っかける。

真田 孔明：

外国人が買い出して、しばらくしてから、後から買いだすんですよ。

北野会長：

これの繰り返しなんやてね。

真田 孔明：

外国人が売り出したら、後から売り出すんです。危ない橋を渡っているのはいつも個人なんですよね？上も下も。

北野会長：

ところがね、無職の遊んどる人はずっと長いことやっとなるやろ？そしたら、金持ちケンカせずやから、これだけ覚えておいて。金持ちケンカせずやから、敵は。外人が買ったらその後ゆっくりと行くがやて。未練残すな、金残せて薄く取っていくやろ。下げも一緒のがやて。この間、サイトに書いておいてくれた。

真田 孔明：

はい。

北野会長：

玉の、外人の売り動向とかっていうあれ何て言ったっけ？

真田 孔明：

メンバー向けには全部。

北野会長：

本当。あれを見ていると外人の玉がどんどん売り建てが増えていっとなるやろ？絶対に下がるんやて・・・それも言うた。言っとなるのにあんた買っとなるやろ？

真田 孔明：

持っているやつを。

北野会長：

だから、俺が言いたいのはそこなんやて。それを自分であれだけのデータを毎日見てさ、外人が売っとるなと。外人が買わん限りはバズーカーが買わん限りは絶対に日本株は上がれん、わかる？日本の国内でお金が作られない限りは株なんて上がらん。上がらないと、一般の人はね、1割損しても何も上がらんし、やめたみたいなのを言うて引き上げていくがやて、そうするともっと下がるやろ？ゆっくりやけど小さい20円、50円、30円って日掛け、月掛け、心掛けで順番に下がると最後に足し算すると、結構大きなお金になるがやちゃ、これがこの株の真実や。

真田 孔明：

僕が黒田バズーカー来ないかなと思っているうちは来ないと。

北野会長：

俺はそう思う。嫌な言い方やけど。

メンバー：

日経新聞を見ていると、日銀、12月の発表で日銀がそろそろ手仕舞いかっていう論調が今すごい増えて。あれがちょっと逆にちょっと兆しかなと思ったんですけど・・・。

サッチェル：

打つんじゃないかと。

メンバー：

逆にみんなやらないと思っているからやるときじゃないかと。

北野会長：

今ね、やっぱり打つときには、打つときには新しい材料が俺はないと打てないと思う。人を説得するようないい材料を出して、それで下に爆弾を仕掛けてドンいうて吹き上げると。これをしない限りはやっぱり吹き上げはないって。この間も、ETF3,000億円、あんなバカなことを言うやつはもう冷やし弾を打ったみたいのような感じやろ？何の材料があるかいうたら、材料はないわけや。なのでそこへさ、例えば200兆のバズーカーをあそこで打てばさ、2,000円上がるよ・・・あの日。ただ、やっぱり線香花火になるんでないかなと思うんだけど。ドン、パンって、チカチカチカチカいうて、ああ、切れましたみたいな。やっぱりもう少し日本にいい材料がないと俺は吹き上げはないんでないかなと、俺の予想ではね。

真田 孔明：

本当なら郵政3社上場がね。

メンバー：

あのタイミングで。

真田 孔明：

タイミングであつたらですけど、思ったよりね、何もなかったですね。

サッチェル：

馴染んじゃっていますもんね。

メンバー：

EUの金融緩和も、もう少し大規模だったらとか。

北野会長：

EUが増せんやろ？だから日本もQE3まではできないと。アメリカはQE3ができたのは、ヨーロッパが不景気だからアメリカドルを印刷して助けに行かんといかんからいうてQE3を打ったわけや。日本はQE3を打つ材料がないわけやないかいね。貸しとる金をたくさん持っているから、やってもいいんだよいうて張ったりは言うとりんやけど、実際ETF3,000億円ずつ買うわつて言うたら、お前、3,000億円ね、ままごとの話だろうと、こうなって・・・。

真田 孔明：

失望売りになっちゃう。

北野会長：

失望売りになるがやて。だから、買った人っていうのは買い上がっていくと思って買ったやろ？あのショックはやはりガンと折れる。昔、飲み屋でさ、飲み屋の姉ちゃんにどちらかの手を挙げた後で、明かしたらみたいなような話をよくやったんやて。10秒間ぐらい手を挙げとって下ろすやろ？そしたらさ、こっちの手よりこっちの手のほうが白い。これと同じ原理。失望売りっていうのはそういうところから出るがや。だから、ものすごい人間の心理を突いとる。だから、何やと思った瞬間に、その倍ぐらいのダメージが来るっちゃうこと。いつの時代も一緒のやて。だから我々はその波の中で生きとるわけやから、だから、おちょこでさ、チビチビとお水をかいとるうちは孔明さんも・・・ところがさ、ズルズルと下がるやろ？これにはあんたもだから耐えられんばい。だから、わしは玉は50対70対、70、30か、50、50で持つとるタイプやから。平均して買っていくっていうのは玉の強さや。後は弾切れせんこと、弾切れしたら終わりなんやて。弾切れしたらみんな氷つくやろ？カー言うて。これにならんようにやっぱり商売を一生懸命やって弾切れせんように。株をするとね、無駄遣いをせんようになるがやて。何でか？金の重さが一番自分がわかるやろ？これがね、一番、俺は勉強でいいんでないかと。失礼やけど。でもあんたらはほ、俺から言うと右手1本の剣士やから、1本や。わしら2つでやっとやって生き延びとるんやから。あんたらち、みんな1本やよ。これ、あんたらち片方で。片方こっちで、こうやってやっている。だから、やっぱりこっちの手も使って勝負せんと、左使えん。

サッチェル：

小太刀を持たないといけないってことですな。

北野会長：

やっぱり振り下ろす力、真っすぐね。暴落に備える気力ちゅうもんかさ。俺はそのときしか目がギラんとせんがや。後は、何で銭の10万や20万ずつね、そんなもの俺にしたらままとみたいなもん。やっぱりもう少し左でも鍛えて、右足を踏み込んでパッとがカッコええんやけど、孔明はやはり止まるやちゃ・・ここで止まるんやて。これで下がっててもどうしようもないじゃね。やっぱりこっちの手は死んだまんまやから。そうではなくて無茶してあそこで1回失敗しとるから、怖くてできんが。あんたが怖くてできんいうことは下の者も全然それを習えないからみんなで塩づけでみたいなこと・・あかんよ。やっぱりそれが一番の原因とは言わんけども、そこを生き抜いとる者は本当にわしら、相場をやとった者は本当に15%ぐらい。だから、全体の相場をやとった人から見ると、ベアタイプが、ベアタイプをできる人は15%しかいなかったのか、後はブルタイプで・・というところにも・・どういうの？楽天でもブルもおってベアもおるでないかい。恐らくあんたらちは、きっと両方にはかけとらんと思うてね。両方にはかけとらんがいな。わしは常に両方をかけとる。何せ70対30か、50対50する男やから、当然ブルも取るやろ？ブルで儲かるとときに今度ベアもかけとる。ベアは安い、上がったところはベアはものすごく安い。3,200円ぐらいまで下がったやろ。でも、あの暴落で35,000円ぐらいまで行ったやろ？だから10倍上がるわけや、上がり下がりから言うと。だから、どう言うの？そういうところが勉強不足なのか、何せ、あんた自身がもう1回そこを会得せんと、下の者も横の者もわからんでない？と思う。今日の1年間の集計として。やっぱり俺が知っていても、この人が全然、俺の反目。反目「孔明、山東省が爆発やよ・・ヤバイぞって」言うたら、彼はどいうったか、「僕は動かない」って。笑　ここがすごい、ここはだから負けんコツはここにある、だからすごいちゃ。俺はね、今までで初めてやちゃ。お前みたいに、その日、怖いから動かないいうたのは　笑　こんなタイプは見たことないから。あの日休んだんやからね・・株をね。これすごくない？俺の仲間内もたくさんおったけど、暴落する言うた日に休みって言うた人はこの人だけ。孔明の有給休暇やったから、あれは。あの日、何で休んだの？本当に？いっぺん聞いてみたいな。

真田 孔明：

占いですよ。あれ。

北野会長：

占って言ったらずも蓋もないけど。

真田 孔明：

いや、本当に。

北野会長：

でもあのさ、下げに休んだというのが、俺はこんな人間もおるんだなと思って。

真田 孔明：

売りがやっぱり感覚でわかっていないから。そこでヘタに売りに手を出しても怖いし。

北野会長：

それで休んだがや。

真田 孔明：

そうです。で、下がって下でこれでやっていたんですよ。

北野会長：

下でか・・・買い上がったとったやろ？下がったから。

真田 孔明：

で300万、超えたんですよ。

北野会長：

今から下がるときは止まりましょう 笑

サッチェル：

兆しが欲しいな。

北野会長：

でも、台風と同じで、気象庁が株全体、相場全体のところにそういうね、ムードが出てくるんやて。皆さんもこの間、そんなムードはわかったと思うけど。山東省の前も、ついこの間の・・・この間何で電話したの。

真田 孔明：

あれは・・・フランスのテロ、違うな・・・何でしたっけ？

北野会長：

フランスのテロじゃなくて。

サッチェル：

利上げですか？

北野会長：

あっ、フランスの利上げが見送られてテロがあったから。中国も悪いし、これはまた月曜日の朝、ドカンと行くんでないかなと思って。

真田 孔明：

どんどん下がっていたんですね？金曜日。

北野会長：

チラチラと下がったもので、金曜日の日、先物の売りを建てたわけや。そんで、これは孔明、またあんたの好きな暴落かなみたいなことを一応流しておいたやちゃ。次の日、確かにドンといったんやけど、何となくとりあえず、1回目で今回は手仕舞いするはいうてパンと手仕舞いしたんやて。

真田 孔明：

全部。

北野会長：

全部。残さず売ったんやて。それで、そのときに、売ったときにサッチェルが未練残すな、金残せ、あんなにいっぱい書いとるのに俺がここで未練を残して、残して次の日持っていかれるいう可能性も大したほ、話題が豊富でなかったや。だから、1発抜いたんやから、ま、ええやると、1晩に2回すると体が弱るから。こういうような感覚で止めておいた。そしたら、勘が当たったちゅうもんかさ。あのときに本当に俺、次の日、やっぱり人間ちゃ、未練残すな。金残せ。さすが・・・

サッチェル：

会長の言葉ですよ。

北野会長：

自分で言うのはなんやけど。

真田 孔明：

そこで引けるのがすごいですね。

北野会長：

感動した。何となくね、衝撃が浅かったから、はっきりもせん、中国は7%を切ったんでないか、ヨーロッパは増発はせんだと、テロも大したテロでなかったし、何十人が殺した程度で、原子爆弾でもなかったから、やっぱり浅いから浅めのドッカンでないかなと思ったりもしたから、ま、ええわ、1発目で・・・勝ち勝ちやからみたいなもんで手を抜いたんやけど。

真田 孔明：

フランスのテロじゃなかったですね？あれ。フランスのテロのときは僕、30万抜いたんですね、香港で。

メンバー：

言っていましたね。

真田 孔明：

その先週で売りに出して。ポンって。売りっていうか、買いから入る、下がったら上がるワラントやってたんですね・・・ポンと。あれは取れたので。中国で何か起きるかなと思ったら、中国株がやたら1人で上がっていたので。中国株が何か落ちるかなと思ったらフランスでテロが起きて暴落みたいな、ちょっと・・・あれは取れた。

北野会長：

どっちも軽かったよね。

真田 孔明：

軽かったですね。でも今のほうがダメージはでかいですね。ジワジワと 笑 ボディーブローのように。買い下がっていったから、あれ。

メンバー：

底の見極めとかどうしたらいいんですか？

北野会長：

そんなものね、買いの見極めはできてもね、底の見極めはね、誰もできんがね。だから、俺はよく病院の先生らちにもこれ儲かるからってね。でも、売る時期に絶対に指定せんがね。なぜかと言うと、今日、手仕舞いの日ですよみたいなことを言うてさ、次の日パンって吹くこともあるんやから。本当にある。そしたらさ「お前が言うたから俺、手仕舞いしたのにこんだけ上がって」って言われたってどうしようもないやろ？だから、それは個別の判断にしてくださいよと。これは今、調子いい投信ですよ、調子のいい株ですよとは言える。情報をもとに言えるけど。どこが高なのかって言われたって俺かてわからんよ。

真田 孔明：

この間、THKもハワイで309円で一回、半分を手仕舞いして、三百十何円で手仕舞いして、33円ぐらい上がって未練残されてましたよね 笑

北野会長：

俺も一緒や。

真田 孔明：

会長が。僕もそこで売っちゃったんですけど。パンって言って、その前で。

サッチェル：

僕も303円ぐらいで手仕舞っちゃった。

真田 孔明：

僕も303円ぐらいで。わー上がっていったって。

サッチェル：

センスのなさみたいなの。

真田 孔明：

会長の場合、直接電話を受けている会長も、あれも早く手仕舞いしちゃっているんですもんね。

北野会長：

そうそう。俺が売った次の日、2日ぐらいまた高あったよ。330円ぐらいまであったよ。

真田 孔明：

そうですね。売った後に。会長もこれ電話があっても、こんなに早く切り上げるんだっていうことでびっくりしましたよね。直接、聞いたわけじゃないですか。東京から。

北野会長：

でもね、あのときはだから頭をああ、失敗したって言うとしても、顔は笑とった・・抜いたのは俺やから。

真田 孔明：

SHも。

北野会長：

よくね、そういうことはいっぱいある。ちょうどゴルフをしとる最中やったもんで、そのときに売らんとちょうどハーフの休みのときに見たら「え、さっきの電話から見たら上がるとやない」ここで手仕舞いするね。3時にゴルフが終わるやろ？お前、何や。俺が売ったのよりまだ高いとるやないかい。何かムカッと来るような話やけど、あるよ。だから、やっぱりタイミングで抜けるときは俺はだから常にね。したいしたい言うより、した者の勝ちみたいなもんやて。だから、やっぱりやりたいときにはやると、こういうことやね。でも人間ちゃさ、それがやっぱりめでたいことになってつながっていくわけやから。

真田 孔明：

僕がチャットで売りに入ったって言ったらみんな買い始めて 笑

北野会長：

でもこれね。昔から博打のセオリーでこうあるがやて。弱とるやつは反目を打つてね。弱とるやつは反目を打つて。これはね、かなりいい。

サッチェル：

昨日はもう我慢して耐え抜いてたんですよ。

真田 孔明：

何も見ていない。

サッチェル：

見ていない。

真田 孔明：

見ると鬱になっちゃう。

サッチェル：

じゃあ月曜日は上がるかな 笑 そしたら。

北野会長：

でもね、株ほどね、直接キャッシュに絡むものやから、結構ね、やられると鬱になるがやて、俺は何で両建てをするかっていったら鬱になりたくないから。俺ほ、ジェントルマンやから、銭さえ儲かっとれば嬉しい。例えば3万でも30万でもいいっちゃ。儲かっとるうちは何か後の玉は押さえておけば配当金は当たるし、買取をかけておけばそれでええやん。こう思うから気が楽になる。人間ちゃやっぱりね、鬱になるって。

真田 孔明：

そういうときは僕は単純に見ない。

北野会長：

見ないのはいいかもしれん。でも開けたらすぐに出るもん、俺の。

真田 孔明：

来週はちょっと中国売っておこうかな？ といって上がり出すっていう、願掛けで。

北野会長：

中国株はまあまあよかったん・・・俺は。

真田 孔明：

中国のほうが下がるときに日本よりもパーセンテージが上で下がっていくっていくと思うんですよね。まあオプションやらないので、オプションはまだ怖いので・・・日本で。オプションはもちろんね、それより上ですけど。

北野会長：

初めてアセアン株を出した時分は、アセアンは素人ばっかしやから、何か抜きやすいなみたいな感じやった。

真田 孔明：

結構、中国株が3,600円で、結構、高値のボックス系のところに来ているんですよね。あれから突き抜けて4,000円行くかっていったらね。今の世界情勢で言うとなんのかなって・・・上にね。なかなか上がってくれなさそうですね。逆にね。

北野会長：

だから、孔明さん、そうやって思うやろ？だから、これはやっぱり反目を・・・笑 あれはでも世界の工場やから、みんなね、よく聞いといて。去年までは11%、12%の経済成長率やったね、分析したら今、7%を切ったんでないか？じゃあ日本は何%成長している？

真田 孔明：

2%もないですね。

北野会長：

そうやろ？そういうことから比べたら、日本の今までのデータから言えば、日本も当時は、いいときは、10%下がっても9%維持したみたいなことを言うとした。だからどんどん伸びていった。俺はさっきのあんたの話やないけど、それを反目を取れば、これはやっぱり中国は伸びていくと思う・・・俺は。俺は。反対なの。だから、中国の株は小さい銭で、何万株、何十万株、何百万株を買えるから、うまいこと抜いておけばやっぱ俺は結構抜けるんでないかなと思っとる。情報にも誤りもあるからね。次は資源株や何て言われて。資源株は当たらんやったけど、そういうことはある。でも、会社が潰れとらんのなら配当金ぐらいは入るやろうと・・・そう思っ

て緩やかな気持ちでおるしか手がない。

真田 孔明：

そういえば、YSって配当がすごいですね。

メンバー：

そうですね。びっくりした。

真田 孔明：

たった3万株で・・・。

メンバー：

8円？4円でしたっけ？

真田 孔明：

14万ぐらい来たね、4万株。手仕舞いしちゃっていますけど、それは。

メンバー：

あれボーナス嬉しいですね。

北野会長：

配当の高いものを・・・例えば3月末やろ？決算が。10日ぐらい前に買っておくと配当金は、ちゃんと来るがやから。後は上がり下がりなんやけど。一番だから甘いのはTとかさ、そこら辺の株の配当がでかいやろ？あそこら辺を買っておいて配当金をもらえるようにして、トントンでも売っていくという、3月末の株主の配当金やから金だけ入ってくる。そういうこともやって、やっぱり失敗したのもあったよ。着物の会社がさ。日本で一番配当金が多いって発表したもんで。何万株か買って、配当金はもらったんやけど、株はダメ。いまだかって氷漬いとる。

真田 孔明：

今も持っているんです？ 笑

北野会長：

結構、嬉しいような思い出の株やなあ。いっぱいあるよ。あんたね失敗の話やったら俺が一番よく知っとるいうぐらい失敗の話。なぜかというとい長いこと、長年やっとるやろ？そういう思い出が多いわけよ、本当に思い出が多い。いい思い出が多かったから生き残っとるわけや。これ全部、悪い思い出やったらやっぱりね、ビルから飛び降りんと手仕舞いできない。

店員：

失礼します。ドリンクがラストオーダーになります。

真田 孔明：

じゃあビール・・・ワイン。

北野会長：

今日は白ワインで行こう。

真田 孔明：

白ワインの人？

サツチェル：

5杯。

真田 孔明：

ほかは？

メンバー：

ビールを。

真田 孔明：

じゃあ、ジョッキ2つ。

店員：

一応、人数様分での提供になりますので、ピッチャーが1人7杯飲めますので。それで、よろしければピッチャー二つとワインをボトルでお持ちする形に・・

メンバー：

ウーロン茶。

店員：

そうなると頼めないのです。ピッチャー2つと白ワインのボトルという形にさせていただけると・・

北野会長：

あ俺じゃあ、ピッチャーを1つにして、ドリンクも持ってきて。

店員：

それでよろしいですか？ウーロン茶とクランベリージュースで・・はい。

真田 孔明：

厳密な 笑

北野会長：

さすがや。今から会合は銀座でする？

真田 孔明：

海外も入れてほしいんです。

メンバー：

タイに行きましょうよ。タイ。

真田 孔明：

夏も娘たちが学校が休みのときにハワイに・・・。

北野会長：

そしたら、バンコクはいつ休み？どっちに行く？スクンビットで遊ぶ。それともパタヤビーチに行く？

メンバー：

パタヤ。

真田 孔明：

いきなりパタヤですか。上級じゃないですか？
スクンビットって？

メンバー：

タイの・・・バンコク。

北野会長：

タニヤで遊ぶか、スクンビットで遊ぶか

真田 孔明：

まずはタニヤでいいんじゃないですか？Oさんは上級かもしれないですけど。みなさんは、まだ・・・まずはね、バンコク。

サッチェル：

船に乗るところですか？船に乗って行くところ。

北野会長：

空港から見たらね、タイに入るのも40分。パタヤに行くのに1時間。空港を下りたらやよ。だから、それを一括でさ、メンバーを集めて、ホテルも一緒のところでバンと押さえて、パタヤビーチ・・・2日やから。俺は何日おってもいいんやけど。俺はね。

メンバー：

僕も何日でもいますけど。

北野会長：

そんな時は、全然足悪い言わんの？

真田 孔明：

ハワイのときは 笑

メンバー：

治りました。

北野会長：

きっとあこら辺に行ったら、Mさんあたりが一番元気やったりして。そうや、おし。何月にする？決めようよ、そこまで言うんやったら・・・1月は？

真田 孔明：

東京ですよ。もう取っちゃいました、1月。

北野会長：

栓、抜いといてよ。回すだけか？済みません。

真田 孔明：

1月は。

北野会長：

1月は。

真田 孔明：

東京。二十何日。

北野会長：

2月やるか？寒いしな。

サッチェル：

そうですね。ちょっとカサ斬りを覚えて。

真田 孔明：

とりあえずみんなの買いをね、塩づけなくしてもらいたいから、量的バズーカーどっかで打たないかな。

メンバー：

そこらへんで打ってくれると・・・。

真田 孔明：

って思っていると出ない 笑

メンバー：

そうですね。

北野会長：

そしたら2月に入らないと俺もわからんからね。でも、一応2月で予定を立てておこうか、2月の最後の土日でパタヤ。

真田 孔明：

スクンビットじゃなくていいんですか？

サッチェル：

船に乗って行くところですか？

北野会長：

ノンノンノン、だから、港のほうはパタヤビーチ、ビーチのほう。

メンバー：

27、28。

北野会長：

それぐらいには何か都合ついたりと思うから。だから、株をやると儲かると常に勉強を永遠に死ぬまで勉強せんといかんということになるわけ・・・わかった？これがね、この金の怖さ。だから楽は下にあるいうて、金のないやつが一番楽なんやて・・・わかった。あー、ラーメン代がほしいなと思っるところが一番人間にとっては幸せ。

真田 孔明：

だってインターネットで稼いでいる人は、国税が動きますからね。100人体制ですよ。ネットで億稼いでる人ですよ。100人ですよ。全部押さえられますから。物販をやっている人は今日も入られた人いるんですけど、3人ぐらいなんですよ。物販は取れないってわかっているから。会長ぐらいやられているとあれですけど。みんな国外逃亡している・・・全員。

メンバー：

そうですね。

真田 孔明：

みんな国税に少々叩かれて国外逃亡している。表のメルマガには書かないですけど、全員だよ・・・本当に。有名な人だとね、Yさんとかいるじゃないですか？

北野会長：

だから、同じなんやて。あぶく銭を掴む、国税がぼっかける。それでね、国税が1万円取るために10万円の贈与をかけてくる。

真田 孔明：

ネットで15歳で月商1億稼いじゃった人がいるんですけど、僕の知り合いで。やっぱりね、1年半ぐらいその人は入っちゃったんですよね。そういう法的なあれを知らなくて。15のときに捕まったんじゃないくて、17、8ぐらいのときに捕まって、出てきたら二十歳ぐらいで・・・。

北野会長：

それね。多いよ。これね、弾を掴んだら、あんたの弁護士を探しておかにゃ。これが一番大事なこと。それもね、バッチに近いところの弁護士を1人持たんと。

真田 孔明：

防御をしておかないと本当に稼ぐのも危ないですよ？

北野会長：

税務署が来て、今から7年前まで。26年から7年前までを・・・これが清算。ここで残った銭が自分の銭。

真田 孔明：

7年間経ってから。

北野会長：

経って・・・わかった？経ってから残った銭が我がの銭や。だから、この水門をくぐらないとダメなわけ。

真田 孔明：

ロールスロイスとかああいうのは買っちゃいけないですね。

北野会長：

でもYもね、結構あれ、あの前に1年間、日本で死んどったやろ？あこまで全部友だちに全部、運ばせたわけよ。シンガポールに・・・銭を。だから、レジデンス何やら買うた、あれ買うた、これ買うたってやっとなるやろ？自分の籍は抜いとる。あこで僕はこれだけ悪いことをしていましたという実証するやろ？あれ、誰やったっけ？株をやっとった村上ファンドも一緒なんやて。日本へ今度、戻ってくると、すぐ銃でやられる、銃があるがやて。だから、日本のじじどもの悪さがそこにあるがやて。この間も酔っぱらって言うたけど、おじちゃんらちはみんなあれ雇われ社長やろ？みんなね、学閥なんやて・・・学閥。みんな、いいところの社長は、東大出か、京大、慶応、早稲田みたいなもんなんやて。後は京大が入って、みんな社長をやっとなるわけや。弁護士も何かも全部、一緒なんやて。こうやって彼らが宴会するやろがよ。「お前、あのTOのあれさ、何とかしてやろうよ。あれ引っ張ってさ、俺、同級生なんだよね」こんなような会話さ。お前、5,500億って。お前。ホリエモンを見てみれ。たった50億で2年6カ月行っとなるんやで・・・天と地やろ？それがシャバさ・・・わかった？

メンバー：

そういうことなんですね。

北野会長：

だから、どっちを選ぶか。こじんまりと選ぶか。でかいところを目指すか。そこはみんな人生やから。これがね、一番の問題。だから無理をして失敗するよりも、命があったら死にはせぬとあの伴奏通りにしたほうがいいんでないかなと。自分の器を考えて、金も一緒さ。借りても返さんみたいな俺みたいなやつもおるし。俺は、新幹線を作って、おかしいと思わない。新幹線が行ったり来たりしとるやろ？あれ。一緒や、そんなもん、わからんやろ？まだ。グルッと回って利息チャランいうて、小さいものを払ったって今、借りとる銭は一緒なら一緒やろ？ここらがわかるようになると人生も簡単、やんちゃをせとは言わんよ。10億借りるのも100億借りるのも、みんな一緒。後は返さんいうたら失礼やから「支店長、金利だけにしましよ」みたいなもん。俺なんか、最近、商工中金でも言っとる。そんなお前らね、ガタガタガタ言うなど。お前の出世のために俺は借金しとるんやから。失礼やけど。お前の出世のために俺が借金しとるが。まして、お前の応援団として、お前、利息を払っとるやん。はっきりね、けじめとして覚えてもらわんと困るよっちゃうの。

サッチェル：

確かにそうですね。

北野会長：

そうやろ？ましてお前、日本の国は借りれ、借りれとお前らに号令をかけとるやろ？俺は無理して今月も借りているんやと。今、出てくる前にそういう話をしとった。会長にはえらい世話になったと。たった2億ですけど、返すことのないようにひとつよろしくお願いします。銭、余っとるからと。何ならお前、先払いで・・・。そしたら「うちは政府機関だから、後付けでないと駄目ですから」「6カ月経ったらまた持って来い。印紙代は・・・」印紙代は俺、嫌だから。払うの。紙に払うのは嫌だみたいなことを言うから「印紙ぐらい会長、私が用意します」

メンバー：

へ～

北野会長：

そうか。結構いい奴・・・「今度、一緒に2人でどう？パッと、町に行って飲もうさ」これまでこう言うやて。ヘラヘラと。

真田 孔明：

で、2億調達 笑

北野会長：

こういうね、結託するとね、こういうことになる・・・離れられない。お互いに。俺もだから、嫌、嫌、言うがやけど、ぜひ会長にはと言って・・・たった2億。俺の精子も3億から2億に減った！ 笑 この間、飲みながらさ、こうやって。そんなことはないと思いますけど。お前にも世話になっとるしさ。本当に俺の借金はお前のためにしているんだよと。

真田 孔明：

売上ですからね。

北野会長：

お前の売上を上げるために俺、必死に働いとるんやと。だから目いっぱい転がせるだけ手形で転がしておいてくれと。回収命令はかかる要素も日本の国ではないですから。会長、知っとるとおり、もう1回バンと出したら、うちのノルマがもっと強くなるがやと、貸す会社がいないんやから。

真田 孔明：

45年間、黒字経営の会社がないと。

北野会長：

聞いた？ 今？ 鋭いところ。でもね、金っていうのはね、儲けるよりも借りたほうが早い・・・貯まるのは。返さんという前例に立てばよ。金っていうのは永遠に借りとってmira、絶対に減ることはねえ。

真田 孔明：

借りたお金に税金はかからないですからね。稼ぐと税金ばかりですけど。

北野会長：

これがね、俺の最大のすごいところやなと。俺は自分でそう思っとる。絶対に返すいう気持ちが余らないから、かなりね、こういうような話を持ち込むのがうまい・・・俺の寝技やな。立ち技じゃなくて寝技や。寝技興行師。ところがね、あれね、各会社の決算がいつも黒字やとさ、銀行は貸しやすいんやて。最初は返済をかけながら、途中、辛くなったらすぐにまた貸してくれみたいなことを言うとするがやて。そのうちに、いや同じことをやっってもね、余りよくないんじゃないですかと。だから、手形で1回だけ回してくれいうがやて。1回6カ月、引っ張ったら勝ち。1回引っ張ったらね、いや、今ちょっと銭がないから、もう6カ月、飛ばしておいてくれって言うがやて。

真田 孔明：

元本返済を。

北野会長：

そう。もう1年やろ。氷ついとるの？1年続いたものは2年続く。こういうものの考え方やから。これは簡単なの。

サッチェル：

最初の半年をまず勝ち取るってということですね？

北野会長：

半年、来たときに言えばね。もし、俺が返さなかったら、お前の首が飛ぶんや。俺の首は飛ばんちゅうの。どうして俺の首が飛ぶの？俺は社長やもん。俺の首が飛ぶの？こういう軽い脅しを中に入れながら詰め寄っていくやないかい。

真田 孔明：

向こうは永遠にそこの部署で働くつもりはないですもんね？サラリーマンは。

北野会長：

そうやろ？サラリーマンは1発スカタンを打ったら終わりさ・・わかる？俺は別にさ、払わなかった言ったって、手形を切ったんやから、相手の銀行が俺の不渡手形は絶対に起こせん・・わかる？てめえが俺に貸した金を俺が手形を切るとるんやから。そんなことできる。条理と信条に基づいてこれを解決します・・これのやから。俺の融資した銀行が俺が手形を踏みにじっても、絶対に不渡手形を起こせんが。お前が貸した金、お前、手形で返すいいたっね。その手形を落とさんからいうて俺を不渡りってそんなことは絶対にできんがやから、貸したのはお前や。悪いのはお前なんだよ。こういう言論の元に立てば、貸してもらったんやから。

店員：

失礼します。お席のお時間になります。

北野会長：

本当、おあいそ。カードを出すのは俺か・・済みません。いつも間違い、気違い、勘違い。でも、いいよね。プラスチックでおあいそができる世の中やから。

メンバー：

金利だけでいいですね。

北野会長：

ここにはキャッシュで払って、金利は銀行に払うと。こういう気持ちになったら結構いいやろ？でもよく考えて？プラスチックのカードやこんなもの。あやふやなものでない？あやふややよ。あんたらち若い者には失礼やけど、これぐらいあやふやなものはない。ビットコインも一緒や、あんなもの、あんたらちは知らんけど、この間、言ったやん・・騙す手口。これからのね、一番のいい騙す手口っていうのがあるがやて、これがビットコイン。これがね、ナンバーワン。

真田 孔明：

最近ビットコイン。今日、ゴールドのセミナーやってた時、隣が仮想通貨のセミナーをやっていた 笑

北野会長：

これで騙される人は・・・

店員：

サインを。

北野会長：

俺のサイン。こっちでいい？

店員：

はい。

北野会長：

悪いことをするときの手口は、必ず絶対に自分が表に立たないこと、必ず一番貧乏人にやらせること、貧乏人には金を払ってやること・・・これが掟さ。腹の減ったやつにエサを与える。これが一番大事なこと。これさえ、遵守しとれば絶対にこん。

真田 孔明：

テレビで捕まっている人たちは単なる尻尾なんですよ？トカゲの。

北野会長：

トカゲの尻尾や、尻尾の尻尾やから。小さいトカゲの尻尾やから、その次の尻尾なの。

真田 孔明：

ATMとかに写っちゃう人は 笑

北野会長：

あれはだから「え、全然、僕、知りません」だから、いくら追及してもわからんのや。お前、金やるから行って来い。サッチェル、ちょっと行って来い。

サッチェル：

いいんですか？みたいな。

北野会長：

行っとれ・・・。

真田 孔明：

確かに入ってるだけでお金がもらえると。

北野会長：

当局もそういうことがわかっているから、絶対にね、それ以上、追及しないの。後何分いることができる？

店員：

もうお席のお時間にはなっています。

北野会長：

お前、そんな寂しいこと言ったら・・・俺、今度またくるぜよ。

店員：

まだ10分なら。

北野会長：

お前ね、そういうセコイことを言うから出世できんがよ。明日もまた来るよ。お前、明日の不幸に・・・明日、また幸せになるかもしれんぞ？もしもし？聞こえている？

店員：

聞こえています。

真田 孔明：

最大、何分なんですか？

北野会長：

お前の力を見たいなと思って今、言っとるん。パンと言ってみら？パンと？

店員：

ドリンクを入れてもらえるのであれば、全然、構わないんですけど。

北野会長：

何を入れればいいの？

店員：

メニューをお持ちしましょうか？

北野会長：

何を入れたら30分になるのって聞いているの？お前の力で後、何十分。

店員：

僕の力では。

北野会長：

力不足か。

店員：

申しわけないですが。15分が限界ですね。

北野会長：

15分。嫌だね。

店員：

申しわけございません。

北野会長：

でも、ここまで15分、伸ばしてくれたから今度も、来月もここを使おうよ。必ず来るから。お前、どういう名前？アルバイトか？

店員：

アルバイトなんです。

北野会長：

支店長か。

メンバー：

まだ全然。

北野会長：

俺は駆け出しの男が好きやから。名前どういの。

店員：

Kと申します。

北野会長：

K。いい名前やん。

真田 孔明：

顔的には銀行マンになりそうな感じですよ 笑

北野会長：

銀行に行っとるんやろ？

店員：

行ってないです。

北野会長：

無職か。

店員：

ここだけです。

北野会長：

ここだけ？女はおる？2、3人か？

店員：

いません。いません。

北野会長：

1人ぐらい紹介してもいいんでないか？なかなかこんな気前のいいお客さんそう来んよ。

店員：

本当ですよ。今度はぜひ長めのプランで取っていただいて・・入れるように。

北野会長：

K、指名料かかるの？Kの指名料。

店員：

僕は無料です。

北野会長：

尻貸すとかいんじゃないかなろうね？勘弁してよ、おい、わかったよ。

店員：

済みません。

北野会長：

ありがとう。

真田 孔明：

ありがとうございました。

北野会長：

言うだけいうけども、銭は払わんいうタイプやからね。俺が本当に僕のこの真面目さが今出た。これで尻貸す言うたら、また気が変わっとったりして。人間ちゃ、案外そんなものやて。どこまで人を突っ込めるかっていう。これは銀行にも同じことを言ってるんやから。「お前の会社なんぼあるんや！1億。1億ぐらいなら、ペーペーやろが」みたいなことを言うと、次に支店長が来て、じゃんけんグーですからみたいなことを言うて、「支店長いくらになるの？」「最低3億から」「たった3億なの？」「今日、初めてのおつき合いですから・・・」「まあ3億でもいいわ」とサラっと言うがやて。帰るときに「支店長、とりあえずすぐ。すぐってのは酷いから6か月ね」サラっと言う。相手が乗っかるのは今と一緒。もう15分みたいなもんで。15分経って、もう1回、呼んでさ。K、お前、どうなっとるのって言ったらどうなる？ 笑 ここはね、味噌と醤油の・・・味噌を入れるか醤油を入れるかの瀬戸際で「なんや、お前って、何か持って来い」って言うたら絶対にうん言うはあれ。

メンバー：

きますね。

北野会長：

そうやる？1回練習ラウンドでやりましょうか？ここらがね、すごい。

メンバー：

Oさん、得意だと思う。

北野会長：

ちょうど15分経ったら、ピッチャー2つ持って来いと、こう1回言うてみてさ、相手がどう・・・ピッチャー2杯持って15分で飲めんやろと・・・聞いた。今のこの。お前、もう15分かかるやろと。ここまで言えば相手は30分延長するかもしれんやろ？言わんより言うたほうが得のがちゃ。お前、女と会うてもとりあえず、結婚を前提にとりあえず素敵やからさしてくださいと。そして怒る女はいないんやから。

メンバー：

先生、今それで言っているようですよ？結婚を前提で・・・。

メンバー：

そうですね。

真田 孔明：

それで成功したんですか。

メンバー：

成功はどちらの成功ですか？

メンバー：

爆笑

北野会長：

さすが。今日は冴えとるね。先生。

メンバー：

爆笑

北野会長：

先生の珍しい言葉やったんで。先生、今日、結構にやけとるから、結構いい思いをしとるやない？

メンバー：

実は酔っぱらうと、いつもこんな風だったりして。

北野会長：

本当。結構、愛に溺れるタイプやからね。

真田 孔明：

相手側も先生のバッチを見て、結婚を前提にならないとそういうのは許さない感じですかね？
この年齢になると。

メンバー：

相手の女性にもよると思う。

北野会長：

先生、軽く批判されとるんでないかいね。

メンバー：

何か3月か4月に会った子と全然違う。

真田 孔明：

バッチを見て先生。

北野会長：

今日は何かニヤニヤしとるから。結構いい思いをしとるやよ。これまたね、こういう人が成功すると、1回成功すると結婚もせず、ずらずらとその道をまた進むことある、案外そんなもんやて。昨日、逮捕されて釈放されたどこか校長先生も一緒やん。

メンバー：

12,500円で 笑

北野会長：

12,500円の・・結構。人間ってというのはね、株も女も一緒やけど成功すると、そこに自分の道を見つけるいうのがあるから結構クセがつくがやて・・クセがつく。自分のクセやから。またね、新しいものを食べることに何となくね、いい物と悪い物の区別がつくようになるがやて・・人生と同じで。寝れば寝るほど次の女がまた欲しくなるっていうのはみんな縦割れやなと思ったけど、ひょっとしたら横割れの女もいるんでないかなというこの疑心暗鬼の気持ちが次の女を求めるようになるわけよ。何で、この前の耳に聞こえた声と今日の女の声とは何でこれだけ違うかなっていう不安感はあるやろ？先生。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

ほら。この先生がこれくらい真面目に言うがやから、間違いはないとこやの。先生はいい加減にやっぱり身を固めたほうがいいよ。

真田 孔明：

39ですからね。

メンバー：

相手の女性は何歳なんですか？

北野会長：

Kを呼んでちょっと言うてみ。ピッチャー2杯いくらのが？強く言わにゃあかんよ。

メンバー：

呼んできます。

メンバー：

見たいですね。会長のまた。

サッチェル：

10代？

メンバー：

20代なんですか？じゃ。

メンバー：

20代です。

メンバー：

おー。

メンバー：

27歳。

北野会長：

K、愛しているよ。この熱い手わからん。とりあえずもう15分延長で・・・まだ15分経ったらんやろ？今は。

店員：

まだ全然経っていないです。

北野会長：

そうやろ。まだ5分ぐらいやけど。Kがあそこまで言うにさ。お前の顔を立てんいうわけにいかんから。ピッチャーを2つほど持ってきてさ。30分ぐらいにしようかなと、30分経ったら帰るよ。

店員：

2つお持ちしてよろしいですか？

北野会長：

お前、もっと高いもの。何か飲んでほしいものがあれば。まさか精液を飲めとは言わんやろ？
そんなたくさん、俺にしゃぶれなんて 笑 ビールがいいかな？

店員：

ビールをピッチャーでお持ちします。

北野会長：

2つ。1つで足らんが。3つになるかもしれんけど。悪いけど。とりあえず2つ。

店員：

わかりました。

北野会長：

お願いします。

店員：

お持ちします。

真田 孔明：

サラサラっとこの。

北野会長：

毎日これを銀行と飲み屋に行って毎日、言うところ・・・単語やから。詰まるということがないタイプやないかい。

北野会長：

お酒を飲む前にこうやって言われていたんですか？シラフで？

北野会長：

そうやよ。

真田 孔明：

48歳になる前に。

北野会長：

毎日、単語の練習やから。女の人を見たら50でもお嬢さん、愛しているよ。これがサラサラと言えるようになると人生もまたいろいろ変わってくが。50歳になってもね、女だけを・・・特にお嬢さん言うて。最低3人は振り返るから 笑 まだ、あんたらちは若いからそれがわからんの。それだけや。お嬢さんという単語に間違いは絶対にない・・・本当よ。

メンバー：

お嬢さん。こんな若造が言ったら、何かぶん殴られませんか？大丈夫ですか？

北野会長：

そんなことはない、とりあえず。

メンバー：

お嬢さん。

北野会長：

腹を立てる女はおらんから。おばさんでも、とりあえず言うてくれれば。若い人が何で。そこでパッと言わにゃあかんよ？向いた人に。あんたみたいなタイプ好きやったみたいなことを言えばさ。そんな悪い感情はないやろ？好きだった。好きやったやから・・・わかる？好きやったやから。好きやったは勝手やから。人間の証明書はいらんがやから。好きやったという証明書はいらないんやから。とりあえず好きやったと。とりあえず1回握手でも、みたいなことを言えば。一応は、覚えとるやろ？俺ね、お前、絶対にこっちは駄目やよ？初回から。とりあえずこっちからね。こういう軽いタッチでパンとこうね。すり合うようなところを大事にしてほしいなと。今日は本当に酒を飲んどらんのに悪酔い 笑 昨日の酒が戻ったのか？でも、こういうことってというのは株じゃなくて、会話の中にはものすごい大事なこと。特に銀行に対しては、相手は勤めとる人やから・・・覚えといて。相手は勤めとる人やから、私は借入、あなたは売上。あなたの金利に対しては私は全面的に保障するから。とりあえず6カ月だけ待ってってくれと。この決め言葉が最初の6カ月は後払い、金利は後払いしてくれ。次の6カ月目は。

店員：

失礼します。一応、上の人に掛け合ってきて、30分で1人500円でスペースは30分、貸し出せるようにと伝えてきたんです。

北野会長：

何？もう一回、わからんの。お前の注釈は。

店員：

スペースを。こちらの個室をちゃんと貸し出せるようにということで、1人ドリンクを頼まずに場所代として1人500円。

北野会長：

500円ちゃ、ぼったくりでないか？銀行の金利のほうはまだ高いぞ、500円。

店員：

それを計算して。ビールのピッチャーのお値段と計算してきて。

北野会長：

ピッチャーは1杯いくらのが。

店員：

ピッチャーは7杯、取れるので、それが650円なんですけど、ピッチャーより、こちらの方が安いかなと・・・

サツチェル：

割安になった

店員：

そうですね、ピッチャー2つ持ってくるより、お1人様500円のほうがお値段・・

メンバー：

ビールが飲めない？

メンバー：

その分、お酒でもいい？

店員：

それは大丈夫ですよ。お酒だと割高になってしまうんですが・・

北野会長：

お前の話、全部、割高ばかり。割引ってというのは普通・・

店員：

一応、掛け合ってきました。それで、そこで手を打って・・。

北野会長：

お前、全然、交渉術がないんでない？お月さんを見てみら・・見えた。

店員：

満月です。

北野会長：

全然、マジでないやん。

店員：

済みません。

北野会長：

企業努力という言葉を知らないの？企業人が企業努力をして初めて人生を全うできるわけやないかい。もう一回、やってこい。

店員：

僕の権限で。隠してやっちゃいますが、ピッチャーをいただいた。2つで4,000円で提供させていただきます。

北野会長：

わかった。Kのためにこれで・・みたいなものだからしゃあないわ。

店員：

1つ4,000円をお願いします。

北野会長：

お前、今、2つで4,000円って言ったよね。みんな聞いたのに今さらウソをつくって。

北野会長：

とりあえず2つ持って来い。

店員：

2つ持って来ます。いいあんばいでかけさせてもらいます。いいあんばいでこちらで出させていただきます。

メンバー：

ピッチャー3つにならないの。

店員：

ピッチャーを3つお持ちしますので考えて。

北野会長：

わかった、お前の気持ちやから。銭は任せて、お前の気持ちが大事やから。気持ちを見たいだけやから頼むよ。

メンバー：

すごい。

メンバー：

今、気持ちをいただきましたみたいな、お前は。

北野会長：

お前、結構、厳しいこと言うな、お前。それを狙っているのがどうしてわかった？これをやっぱり一応、カードを先にパンと言ってしまっておかないとあかんやろ？これで6万円って書いてあっても俺はサインをするよ、俺はジェントルマンやから。

メンバー：

サインはするけどここまで言う。

北野会長：

カード会社に言うて止めといて 笑 これぐらいかっぱえびせんを食べとるんやから、場が違うんやから。ピッチャー2杯であの店でおかしいんじゃないの言うて、6万円って書いてあっても。何ぼでも反撃。何なら弁護士で先生で訴訟をかけましょうか。

メンバー：

ぼったくり条例に引っかかる。

メンバー：

ビールが来るので。

北野会長：

ありがとう。お前、頼りやよ。

メンバー：

ジョホールバルからビール注ぎ係なので。

北野会長：

またすごいね、しつこい男でさ、3時になっても俺に飲め飲めいうもんで、俺もエッサエッサと飲んでいたら酔っぱらってしまって。酔っぱらうと何でもね。本当はこういうことをしたくないんやよ。皆さんに手本として酒の飲み方、口説き方、女だけを口説いてもあかんよ。男でも握手してさ。結婚を前提とは言わんでも。お前の実力を見たいとかさ、これを銀行に言うとな、銀行員はね、初めて飲みに出るとわからんやて、永遠に注いでいるから。俺の場合は、ドットコドットコドットコ。絶対に俺より強くないんやから。すると結構ね、今の2杯か3杯の世界入る相手が。

真田 孔明：

2億が3億になる 笑

北野会長：

それを酔うまで攻め続ける。ビールに始まって、焼酎を飲ませて、ワインを飲ませて、ブランデーや。ブランデーで落ちんだら、ドンドコドンドコ高いブランデーで行くがやて。3億のことやから。そんな細かい銭のことを計算しとってもあかんよ。後は最後のとどめは6カ月やろ？カード先払い。ここまで一気に攻め入れないと勝ちはねえよ？ここまで城を取ってしまわんと・・・門で。

メンバー：

押し戻されますね。

北野会長：

だからここは一気に攻め入れないと絶対に勝てん。これを45年間も、また歳も1ついったから、こういうことをやるとるわけやから。株も大事やけど、こういう弾を集めるテクニックやな。これを皆さんが1回、今日はちょっと露骨に演出したけど、結構ね、こういうバカなことは結構、得意にしとる。必ず愛の触れ合いは大事やよ、愛やから。愛はあやふややけど、愛やから。握手も愛。愛の水中花みたいな。これも愛、あれも愛であやふや。あやふやなほど真実が混じっとる。ビールの中にはホップがあるみたいなもんで、の話。この間もいっぱい注いでもらったね。

メンバー：

僕も飲み過ぎちゃいましたけど。

北野会長：

本当。

メンバー：

一緒に飲んでいたら。

北野会長：

強いね、みんな。

メンバー：

結構飲んでいましたね。

北野会長：

俺、あの帳面に酔うてしもうてさ。やっぱり学者タイプなのね。きっと計算が上手なんや。ピシ〜と書いてあったもの。俺はあれを見て、いっぺんで酔うた。

店員：

失礼します。

北野会長：

やっぱり3つになった？

店員：

3つお持ちします。

北野会長：

そうか。結構、力あるんやん。

店員：

ないです。全然ないです。

北野会長：

今、3つて来たとき、結構力あるよ。

店員：

一応、10時まで借りれるようにしてもらって、あと1時間、10時に完全撤収。

北野会長：

結構やるやん。

店員：

10時に完全撤収してもらいたいです。10時までのピッチャー3つでお1人様1,000円にしても
raitaitaidesu.ソレでうたしていただきました。お1人様1,000円で全部込み込みです。

北野会長：

すごい。結構、力あるやん。力不足、力不足いうて、俺も心配しとった。ここで6万円も取ら
れたらどうしようって今。

店員：

一応そういうことで。

北野会長：

俺またサインするから。

店員：

お願いします。

北野会長：

時間になったら言ってきてよ。

店員：

時間の10分前に一応、お伝えに来るので。

北野会長：

10分前じゃなくて1分前。

店員：

かしこまりました。

北野会長：

わしらはもうパッと。

店員：

わかりました。

北野会長：

それまで来ないでね。

店員：

わかりました。

北野会長：

まだ結婚を前提にまだつき合いたい？

店員：

どういことですか！？

北野会長：

そんなに怖がらなくてもいい。

店員：

わかりました。

北野会長：

とりあえず今、サインするから持って来て。

店員：

わかりました。

北野会長：

あと1分前にしか顔を出すなよ。

店員：

わかりました。

北野会長：

これ以上愛してもどうしようもない。

店員：

わかりました。1分前に来ます。

北野会長：

よろしくお願いします。

店員：

ありがとうございます。

北野会長：

シェイシェイ。

店員：

1分前に。

北野会長：

1分前やよ。

店員：

かしこまりました。

北野会長：

間違えたらお前、えんこやぞ。

店員：

わかりました。

北野会長：

ほとんどいつもの四つぐらいパターンを持っとるんやけど。一応いつもこういうことばかり。あんたらち。企業努力をしてやな。企業努力が一番大事なんやから。俺を見てみられ。お前。来てからずっと飲みっぱなしや。それで皆さんと何か寂しいような、悲しいような気もするけど、俺も昨日も飲んどるから。今日は早目に引き上げて。ホテルへ入って、お経でも。お経を連れてこられ。

真田 孔明：

お経。あれはジョホールバルの。

北野会長：

あれ結構おもしろいやつやの。あれ、この間いなかった?お経。

真田 孔明：

お経はジョホールバルにいました。

北野会長：

ジョホールバルにいたやろ。最後までいたのか。

真田 孔明：

お経はゴールドには入っていないんですけど、プラチナには入っていないんです。

北野会長：

本当？ゴールドにも入っていない？プラチナにも入っていない？

真田 孔明：

ゴールドには入っているんですけど、違えた。お経も最初2回目にオフィスに来たときに一緒にいたんです、うちのスタッフと一緒に。

北野会長：

全然覚えとらん。何か覚えとるのは、階段を上がっていったところと、ワインのおいしかったことと、後は誰がいたか全然覚えとらん。後は何か。気がついたら次のホテルの前にて。ありがたいと降りていったのまで覚えとる。朝、どこかでワインを飲んだ。どこで飲んだか全然覚えてない。この歳になるとね、最後の2軒ぐらいが思い出せんが。途中、飲み始めは覚えとるの。最後の2軒はね、何しとったか全然わからん。前にも言ったけど、商売の始まりは、言ったやん、覚えとる？商売の始まり。ちょっと言ってみら。商売の始まりは。男と女が初めて会ったが。男は獲物を持っとった。女はその獲物を取るために企業努力をした。あの人は前がとんがとる。私は引っ込んだと。これをエサに男から獲物を取ったのは女のがやから。それが商売の原本と言われとる・・・原本。いつ神はそこに作ったか知らんけども、それでこう言われとる今、だから女には絶対に勝てんわけよ。だから毎日言っとるやん。「はい」と「です」を必ず言うようにと。朝起きたら「愛しているよ」、「今日も綺麗ですね」と。これさえ言えれば勝ちのがや。これを言えなかったらみんな死ぬよ。いずれは嫁はんに首を掻き切られてさ。

真田 孔明：

砂糖を盛られて糖尿病、塩盛られて高血圧 笑

北野会長：

女っていうのはそれぐらい知恵があるがやから・・・わかる？会ったときに既にはや知恵を発揮しとるのが女やから。こんなね、みんな男より小さくて弱い女がここまで生き延びられるいうことはなぜかと考えてみら・・・知恵があるからさ。それで子どもでも生んでみら。旦那を攻めて攻めて、死ぬまで絞め殺すみたいなことを仕事せ言うて、こう言うがやから。これは間違い

ない。なぜかと言うと、自分の子どもを守るために旦那に働け、働け・・・自然な現象のがやて。女はだからそれぐらい防衛反応が強いわけや。

真田 孔明：

女性と話を聞いている、旦那が駄目になったらすぐにバサッと斬り去って次の人をね、宿として探しますよね？ドライに・・・。

メンバー：

怖いですね。

真田 孔明：

これもすごいドライですよ。？

北野会長：

女はだからそれぐらいドライにかさ斬りをできるから生きる。こはね、孔明はまだね、まだほ、離婚したことないから・・・。

メンバー：

下がっていく袈裟斬りみたいな 笑

北野会長：

できんやろ？だから俺はさっきからそれを。彼が会得せん限り、あんたらちは会得できんよと・・・彼から習っとることやから。

真田 孔明：

男が上がっているうちは浮気をしていても目が見えない。下がっているときは浮気したら・・・証拠。

北野会長：

孔明、片目をつぶっとるだけや・・・あれは。見えとる・・・半目は。

真田 孔明：

でもちょっとの下がりで・・・その証拠をつかんで取ると。

北野会長：

この間、すごい人・・・63億、持っとる人と離婚した女がおったやろ？あれもあれ。半分は2年間、イギリスの法律でOKになれば63億の半分やから、30億ぐらいはいただけるわけや。

真田 孔明：

何もビジネスもしないで。男がチビチビ貯めたやつを 笑

メンバー：

うらやましい。

北野会長：

これが・・・俺の言う辻斬りさ。

サッチェル：

そういうことですよね。

真田 孔明：

そして女性は新しい男性に挑戦できると・・・正々堂々と。被害者として・・・。

サッチェル：

32億の弾を持って。

メンバー：

強い。

北野会長：

だから、日本のサエコか何かも、あれ同じじゃん・・・系列が。

メンバー：

あれは、凄いですね。

北野会長：

そうやる？知恵があるがやて。あのね、知恵のある女に引っかけたらもう終わり。脅されて殺されるんやから・・・男はみんなそう。脳みそをストローでスッと吸われとるようなあの感覚、麻痺している。女の真実っていうのはないんやから・・・本当は、俺から言えば。うちの嫁でさえ、毎日、「ああ、今日も綺麗ですね」、「愛してる」って毎日、そういつて言っとるのに、嫁はんは笑っとるもんね。いかに俺をバカにしとるかなと・・・俺は猿のように下から眺めながら言っとるんやけど。そこの真実は伝わってくるよ。あんた、生きて金さえ儲けてくれれば一応大事にしとるような顔をしとる・・・下から見ると。若いときの上目使いで上から写真を撮ると綺麗に映るっていう。歳をいくと下からこうやって眺めて・・・結構、恐怖やよ 笑

メンバー：

今、何か先生がすごい熱心に聞いている。

真田 孔明：

結婚前だから 笑

メンバー：

結婚前に今のうちにどうやって・・・笑

北野会長：

人間ってというのは本当にね、嫌な話・・・これね、女しかね、子どもを生めんからね。だから女に逆らって勝ち目はないって。女を全部殺したら、子孫がねえやから男は。ここにだから神はいい原理を作っとるんや。

真田 孔明：

戦争で女性だけは生き残りますからね。敵軍に行っても。

北野会長：

だから永遠にそうや。だからモンゴルは、陣地を全部、取った日もあれはだから女の侵略さ。男はバカやから、種さえ植えれば増えていくと思っとる。それがオセロのようにひっくり返っていく・・・オセロのように。一つの最後の駒の1手で次のジンギスカンが長男をしっかり育てんだらパラパラパラ・・・夢のように去っていくが。さっきの花火がドンってさ、チカチカチカチカとなくなると同じ。お互いにやっぱり男として生きたら必ずそういう日はあるなと思っで生きんとあかんし、決意表明じゃないけども、皆さんが65になればいつか俺が言ったことがわかるけど、今の年齢では、はっきりはわからない。でも、いずれはそうなるなと思ってやっぱり人生を生きとれば間違いない。孔明の奥さんもそう。はしかい、はしかい・・・はしかい。女ちゃね、感覚が強いから、俺、初めて韓国語の店で会って、初めてお会いしまして。握手をしたんやけど、孔明は認めとらんが。でも奥さんはあの握手1回で俺を認めたんやから、いかに感覚が鋭いかよ。

真田 孔明：

確かにそうですね。

北野会長：

そうやる？その後、この人が来て。こういうことをやってみたいからみたいなことを言うて。俺はただ1回ワイン3本飲ませてくれた人やから賛同して、今日も語っとるんやけど。でも、案外人間ちゃそんなもん。ほとんど無口な奥さんやから。

真田 孔明：

でも、この人、駄目っていう人グワッとひたすら言い続けるんですよ。大抵やっぱり裏切るんですよ 笑 今のところ。

北野会長：

だからやっぱり感覚を持っとるわけ。何か初めて会って、玄関で握手をして別れたんやけど。何か信用してくれたみたいなような話を聞いたから。俺の場合は男としてはあやふやな男やから。銀行員でも、店のマスターでも、これぐらい言えるタイプやから、あやふやや、あやふや。

すごい柔軟な対応で・・・結構柔軟や。言えん言葉はねえやから。今度、お愛想言うたら「ちょっと早いんでないか？」と、へっちゃまで言えるタイプやから。お前、ほんまにもう1分か？みたいなこと。サラっと言うと相手もビビるわけ。ばかやろう、お前、なめとるがかみみたいなこと。サッチェル、早く（お酒）

サッチェル：

失礼いたしました。

北野会長：

ほんまお前、隣のあんちゃんよりもお前・・・この間、おらんだろ？

メンバー：

隣のテーブルでした。サッチェルさんは。

北野会長：

そう？夜までおったかい？

メンバー：

いました。

サッチェル：

お邪魔いたしました。

北野会長：

3時半。

真田 孔明：

いましたね。

北野会長：

いた？全然サッチェルに注いでもらった記憶がない。Mさんがおったのはわかるんやけど。最後に何かね、話をしたから。あれが印象に残ってさ。

メンバー：

そうですね。いろいろ少しずつ頑張っています。ドカンとは行けないですけど。

北野会長：

あのね、命構わずになると辻斬りができるようになるがちゃ・・・辻斬り、本当にね、したいなと思ったら、命構わずでないとできん・・・本当や。これぐらいね、難しい。俺も何回もその道を渡ってきとるから・・・どういうの？バンジージャンプをやってさ、ゴムが切れたら死んでも

ええわみたいようなこの心境になれん限りはね、でかい銭は掴めん。でっかい銭はよ・・・1発で。最近ね、そういう俺も、もうね、寂しい話やけど、未練、残すな、金、残せってバンバンってバンバンジャンプはいはいって、もう1発、2発行けんもん・・・怖くて。黒田バズーカーがあるいう恐怖心もあるんやけど怖い。それをトータルして皆さんに言っとるのは、未練、残すな、金、残せ。深追いをする絶対失敗するんやて・・・人間は。悪い女に騙されて。先生、大丈夫？悪い女に騙されて・・・そんなことない？

メンバー：

ちゃんと悪い女じゃないかっていう証文をもらっていますとか。

北野会長：

嫌だね。人間ちゃ、やはりそういうところがあるからさ。本当にね、すごい難しい一言や。

サッチェル：

本当にいい言葉ですよ。未練残すな、金残せって。

北野会長：

俺はだから43年、4年、もう45年で作った中の一言。

サッチェル：

本当にすごい。

北野会長：

無理、無駄、ムラをなくして、今日に行き着いとる。金が貯まるほど、金の魅力ちゃ大きくなるが・・・金が貯まるほど。でも、金が貯まったら皆さん、失礼やけど、金が貯まったらもっと苦しむ。ないときは心配せんでもいいが。金が貯まるほど俺みたいに孫に贈与したり、あれもこれも戦略をせなならん。だから、孔明さんに頼んでジョホールバルを買い占めようかなとか笑 これぐらい思っとる。

メンバー：

前のめりになると駄目ってことですよね。

北野会長：

いいこと言った。前のめりは駄目。後はもう日掛け、月掛け、心掛け。ゆっくりと買い続ける。これが一番最強の方法やいうて、僕は鷹のほうからそうやって言われとった。こないだ孔明さんも弁護士さんの先生もお勧めみたいなこと言ったから。孔明さんに頼んだら、一晩で会社ができる。

真田 孔明：

作るのは得意なの会社、作るのは・・・経営はあれですが。

北野会長：

ここに反比例がある。今日は一番難しい、また皆さんもうちに帰って、比例、反比例をまた勉強。借金が増えると皆さんの信用は減ると思うと、でもね、それは違う。借金が増えるほど信用は高まるが。普通は増える借金減る信用いうて。増える借金減る信用・・・反比例します。これを逆に取ったのがこの戦略。例えばあんたらよう考えて。俺が死んだら、「俺が死んだら」どうやって取る？お前ら、取ってみ。俺から。俺が死んだら、お前ら、貸した錢取ってみ？今の日本の法律ではねえから。保証人、そんなものねえやから。俺が死んだら、地獄に行くか極楽に行くかそれは知らんけども、取れる方法はない。だから私は借金を積み重ねとる。相手が借りてくれいうから俺はボランティアでやっとする。あんたの場合は、借り続けていってほしい。青春時代みたいな話やから。

メンバー：

借金が信用っていうのがありましたよね。銀行ってどこどこで金を借りてますっていうと、うちも借りてくださいってなりますよね。

北野会長：

Tがそうやる？5,500億の借金。赤字やる？あれ絶対、銀行は潰さんよね。何でか知っとる。あれ飛んでイスタンブールになるの誰よ。Tが飛んで、誰が得する？まず銀行が飛ぶやな・・・5,500億。それを貸しとった日本の国から損金が出るやる？だから誰も・・・。

真田 孔明：

株価が200円ですよ。暴落して・・・300円だったやつが。

メンバー：

下がりましたね。今月一気に。

北野会長：

そうやる？だから俺が言うのは、あれで絶対に潰さんという保障が出れば200円で買って180円、160円でも俺はだからTを150円ぐらいで買って、うちの親族、家族でバッとね、集めるのはそこなの。潰れんのな、そんなもの買いまくった男。

真田 孔明：

SHも今、110円、切りましたよね。

北野会長：

SHの場合は、全部あれは損切りして生きとるやる？あこにちょっと俺はやっぱり問題があるなと。後は、政治家がさ、絶対に潰さん。保証書もないんやね・・・保証書がないが。この前も言うたけど、JAで9,000万。たった9,000万やから。別にいいよ。たった9,000万ぐらい別にいいんやけど。だからビール瓶を持って大変な事になるがやて。こう持ち上がったけど、腹が立つからさ。「会長、済みませんでした」本当にこうなるよ。「お前、ばかやろう。9,000万っ

て」俺にしたら腹立つ銭のがやて。いくら飛んでイスタンブールいうたってさ、本人が言うがか。会長、ずっと儲かっと思ったのに、たった9,000万ぐらいでそんなに。たった9,000万・・・勝っとるときはね、いいが。勝とる銭は2億でも、3億でもな、腹は立たんが。でも9,000万のこれは犯罪やぞ。勝っとるときは腹は立たんがの。俺もだからよく後で冷静に考えたら、あれだけ儲かっと思ったのに、何で9,000万ぐらいで反応したのかなと。9,000万がピンとくる。ばかやろう、ガキがお前、俺に9,000万ぐらい。てめえはお前、それだけの銭を持っとるがか。持たないやつが俺に9,000万ぐらい・・・どう思う？

メンバー：

痛いすよね。

北野会長：

そうやる？お前、何を・・・9,000万の痛みを知っとるのは俺や。

サッチェル：

そうですよね。

北野会長：

てめえはお前、知らんやろ？9,000万。900万も持たんぼんずがやぞ。俺に物を言うて。こういうところがね、あるがやて俺には。皆さんには、嫌な話やけど。こういうところがあるが、結構ラッスンゴレライ。反目を打つと、結構ムカッと来るタイプ・・・感情が。だから、さっき言ったバンカー、プレイヤーを両方を張れる男やから、上がったときは喜ぶわ。でも下がってさ、パッと下がって貧乏したら言われたら、お前、なめとるんでないがか。思うのは俺の勝手やけど、みんなのように高校も半分ほどしか行っとらん男やから。カーッと来るのが早い、何の門やったっけ？

真田 孔明：

陽創門。

北野会長：

陽創門ちゃ・・・

真田 孔明：

直観と感覚で・・・。

北野会長：

何であんなことをしたのかなと後で思うとる。だから永遠に失敗。何でこんなに失敗が多いのかなと思ったら、孔明が言うとるよ。感情で動くタイプ。瞬時の感情でバンいうて動くやる？俺。これが一番、何か悪い。

真田 孔明：

それであれですよ。売りとか身を救ってきた 笑

北野会長：

ほとんど直観で動くから。脳があんたらちの高校の半分ぐらいで何とか卒業できた男やから。あんたらちはほ、Yの字になったら考える・・・左。「あなたは左、私は右に行く」という歌と一緒になの。あんたらちは考える。俺は絶対に考えない。俺は考える力がないから、自分の感覚でパンと右に弾いたり、左に飛んだりするというのが俺の・・・本当にそうや。全然、考えて行動するっていうことはない。政治家とつき合ったのも、どういふの？相手から見たらバカなあんちゃん・・・俺が。

真田 孔明：

20歳のころですよ？

北野会長：

21、22、23の頃ね。昔は、そういう人たちを俺が銀座で接待しとった。先生が行きたいいう・・・何でも。俺は反対に先生ね、接待しとるんやから。金を儲けることも教えてくれよと。こういうようなタイプなの。そういうときは別に先生を殴ったこともない。秘書が俺に・・・社長、どうやこうやって言うから、ばかやろう。お前、なめとるがかいってこうなるがやて。あれ先生が言うから先生も殴ったことは1回もないやよ。これぐらいジェントルマンやから。

真田 孔明：

でも鷹の方々とも40年とかの付き合いじゃないですか？よくそのときに40年、生き残る政治家を選びましたよね？たくさんいる中から・・・直感ですよ？これも。

北野会長：

そんなもの全然そういうこと思ったらんよ。ただ、つき合ってきたら今日になったいうだけで・・・本当。そんなね、この人が伸びるとかさ、この人が下がるなんて全然思ったことはない。

真田 孔明：

政治家さんはたくさんいますからね、日本には。

北野会長：

ビールがなくなった。

メンバー：

誰も飲んでいないワインが。

北野会長：

寄越せちゃうの。俺ね、白も赤も差別なく飲むタイプやから。

メンバー：

会長さっき、SHとTOが潰れないということがわかったら・・・で終わったんですけど。

北野会長：

そんなもの潰れんとなったら買いまくる。

メンバー：

まだまだわからないんですよね。

北野会長：

でもね、あれは日本の国は俺が思うのは、液晶を離すいうわけにもいかんし、TOのなんやったっけ？小さいほう。

メンバー：

フラッシュメモリー。

北野会長：

フラッシュメモリーも日本は俺は離さんというような気がする。ただ保証がないから。

メンバー：

そこが結構勝負どきですね。

店員：

失礼します。お席のお時間になります。

メンバー：

ちょうど今ビールを頼もうと思っていたところ。

店員：

ラストオーダーで終わりなので申しわけありません。

北野会長：

お前が来てから・・・お前が来てからなんぼ。15分やったっけ。あと15分。

店員：

済みません。もう。10時で。

北野会長：

もう15分言わんだ？俺に？どういったの。さっき。

店員：

10時に撤収していただくという形で。

北野会長：

俺さっき10分ぐらい前に言わん。10時、今1分前なの？もしもし。お前、俺をなめとるのか。電波つながっとる？

店員：

はい。

北野会長：

携帯電話を持っている。何番？お前？ほんまや。10時や・・・それで言ったの。

店員：

10時になったので。

真田 孔明：

お店が閉店しちゃうんです。

北野会長：

それを先に言ってよ。もう30分言うかなと思って。俺も誤解したわ。5階と6階じゃ紙一重やからの。6階におれば5階は1階下やし。4階におれば高やから。撤収するから。なんていう名前やったっけ？

店員：

Kです。

北野会長：

K愛しているよ。

店員：

ありがとうございます。

北野会長：

今度また来るから。お前さっき見た月。もう1回、見てよ。これが俺の真実や・・・俺の真実やから。お前、K。海の権利をお前にやる、山の権利もお前にやる、空の権利までもお前に与えるから。

店員：

そんなにも。

北野会長：

そんなにもいらんがか。これ全部プレゼントやぞ。

店員：

ありがとうございます。今日はありがとうございました。

北野会長：

帰るよ。

メンバー：

つき合ってくれてありがとう。

サッチェル：

会長、カードが返ってきました？

北野会長：

カードは帰っておる。そこら辺はぬかりないな。